

# 「輸血療法に係る県下医療機関を 対象としたアンケート調査の解析」

平成28年3月12日 平成27年度長崎県輸血研修会  
長崎県 福祉保健部 薬務行政室

## 経緯

これまで平成19年度、23年度及び26年度に輸血業

務に係るアンケート調査を実施。その後の医療機関の

取り組み状況等を把握する必要がある。

本県におけるアルブミン製剤の使用量が全国的にも非常に多い。

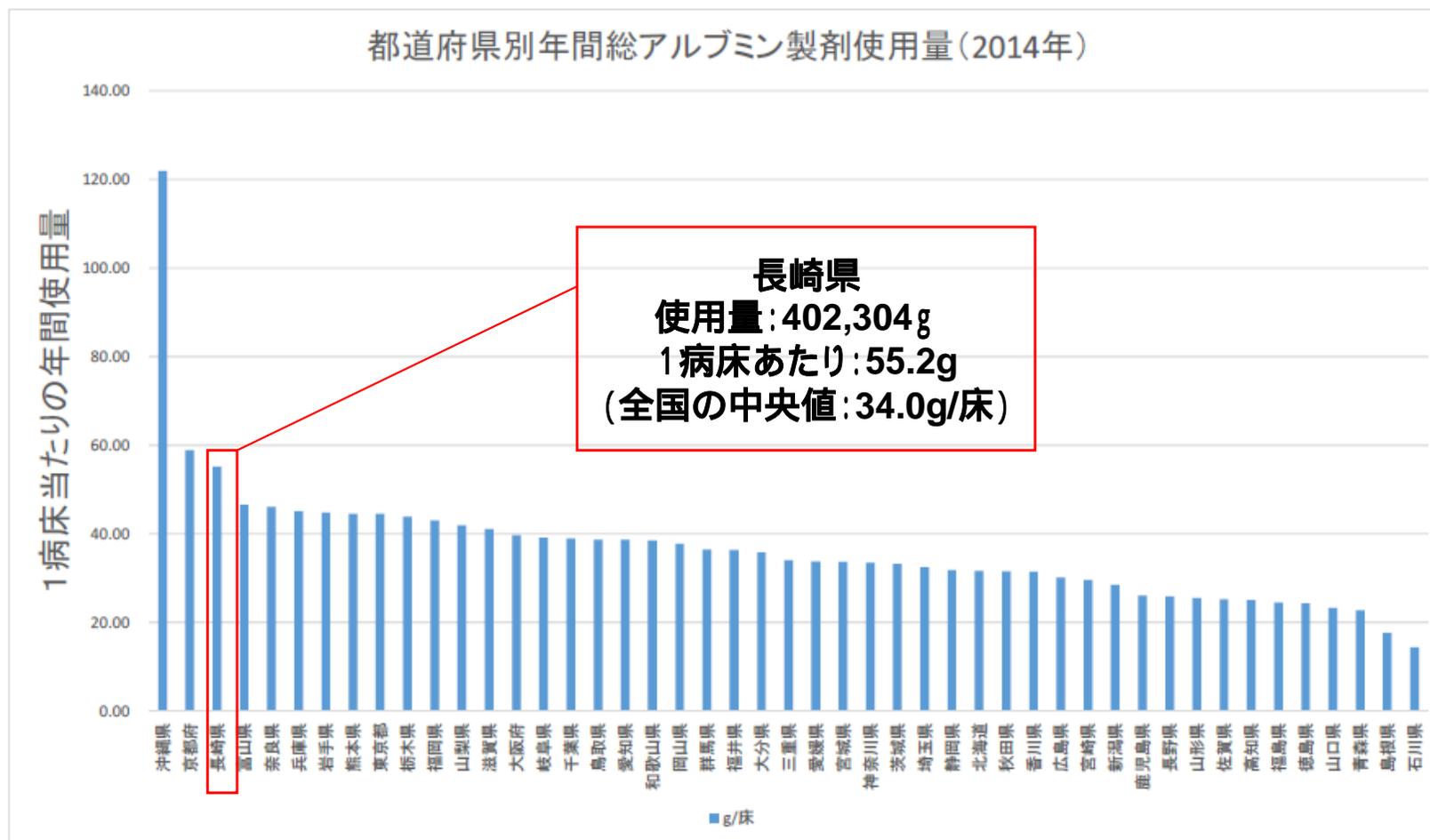


# 都道府県別の使用実態

## 総アルブミン製剤

平成 26 年度血液製剤使用実態調査（血液製剤使用実態）日本輸血・細胞治療学会 調査統計委員会（担当：菅野 仁）

図 27



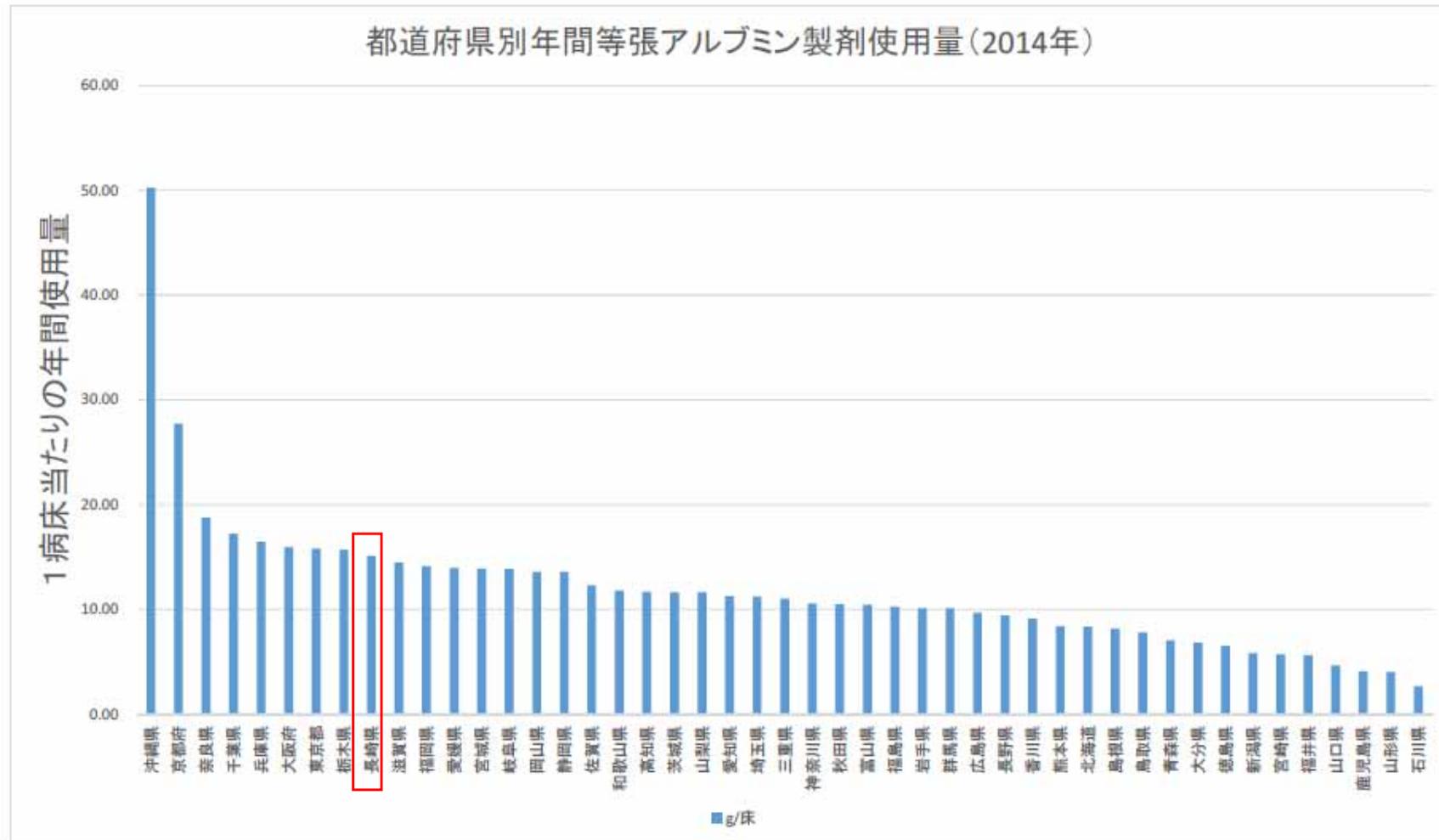


# 都道府県別の使用実態

# 等張製剤

平成 26 年度血液製剤使用実態調査（血液製剤使用実態）日本輸血・細胞治療学会 調査統計委員会（担当：菅野 仁）

図 29



# 平成27年度アンケート調査の概要

平成26年度に長崎県内の輸血業務に関する情報を収集し、今後の血液製剤使用適正化推進への取組みに活用するとともに、**平成25年度の診療科別の使用実態**の把握と併せて、アルブミン製剤の使用適正化方策を検討するため、アンケート調査を実施。

その後の啓発効果等を把握するため、**平成26年におけるアルブミン製剤の使用量等**について、再度アンケート調査を実施した。

(アンケート調査期間) 平成27年8月28日～10月9日

(調査対象とする期間) 平成26年中の使用実績等

(対象医療機関数) **県内150施設(診療所12、病院138)**

：平成26年度にアンケートを実施した138病院

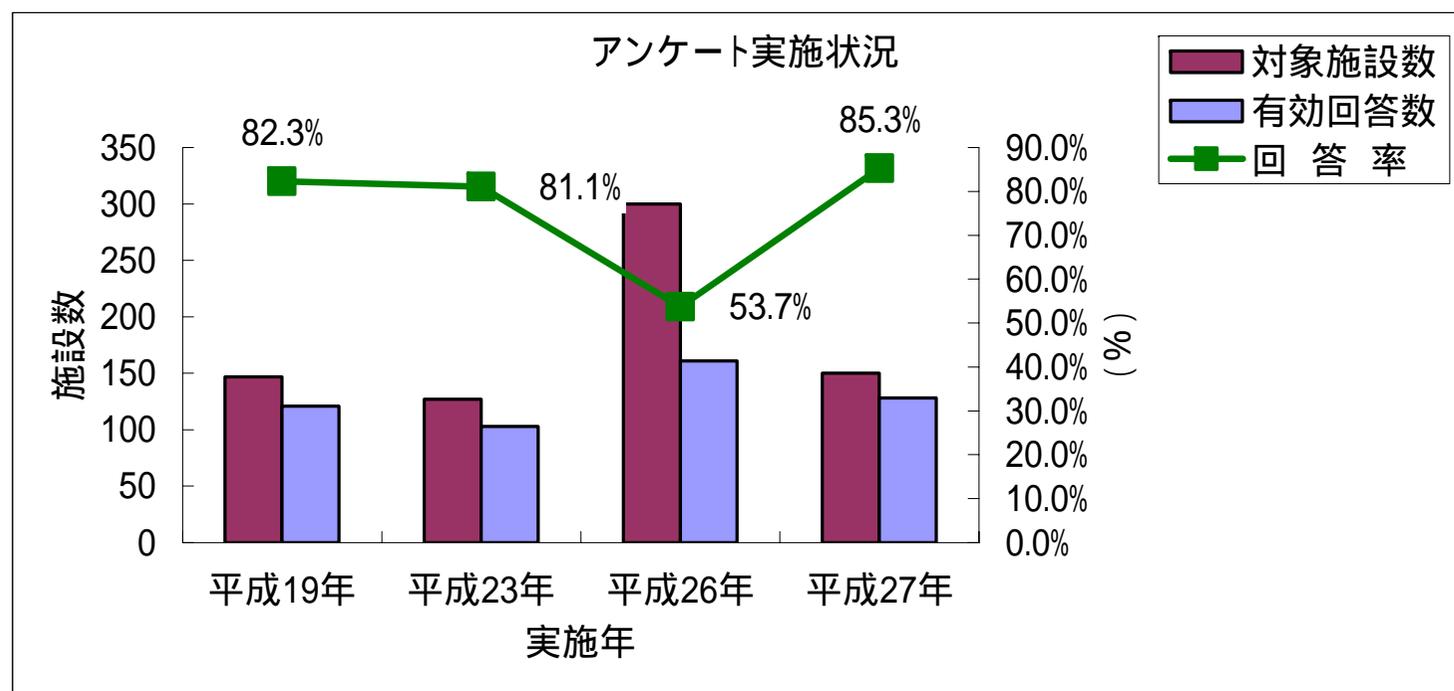
平成25年中にアルブミン製剤の使用実績があった12診療所

(回答医療機関数) 128施設



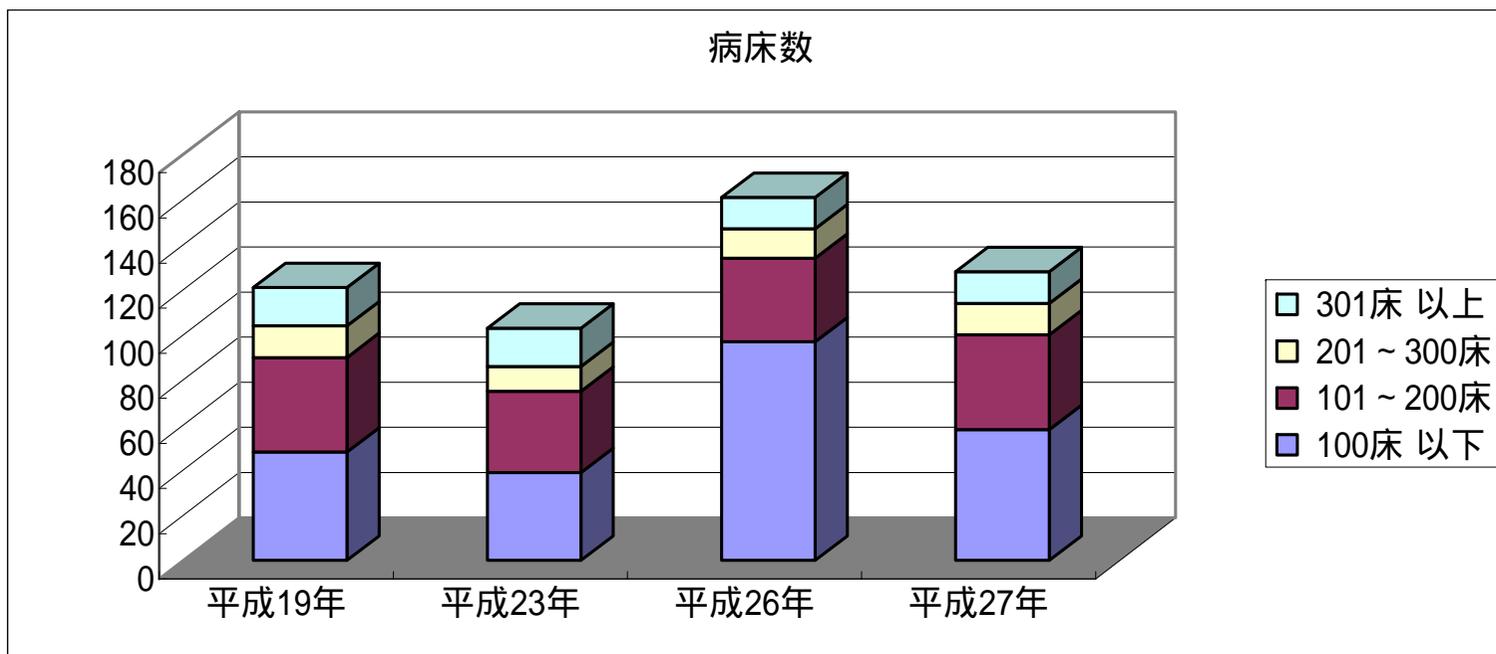
# アンケート調査の回答数等

	平成19年	平成23年	平成26年	平成27年
対象施設数	147	127	300	150
有効回答数	121	103	161	128
回答率	82.3%	81.1%	53.7%	85.3%



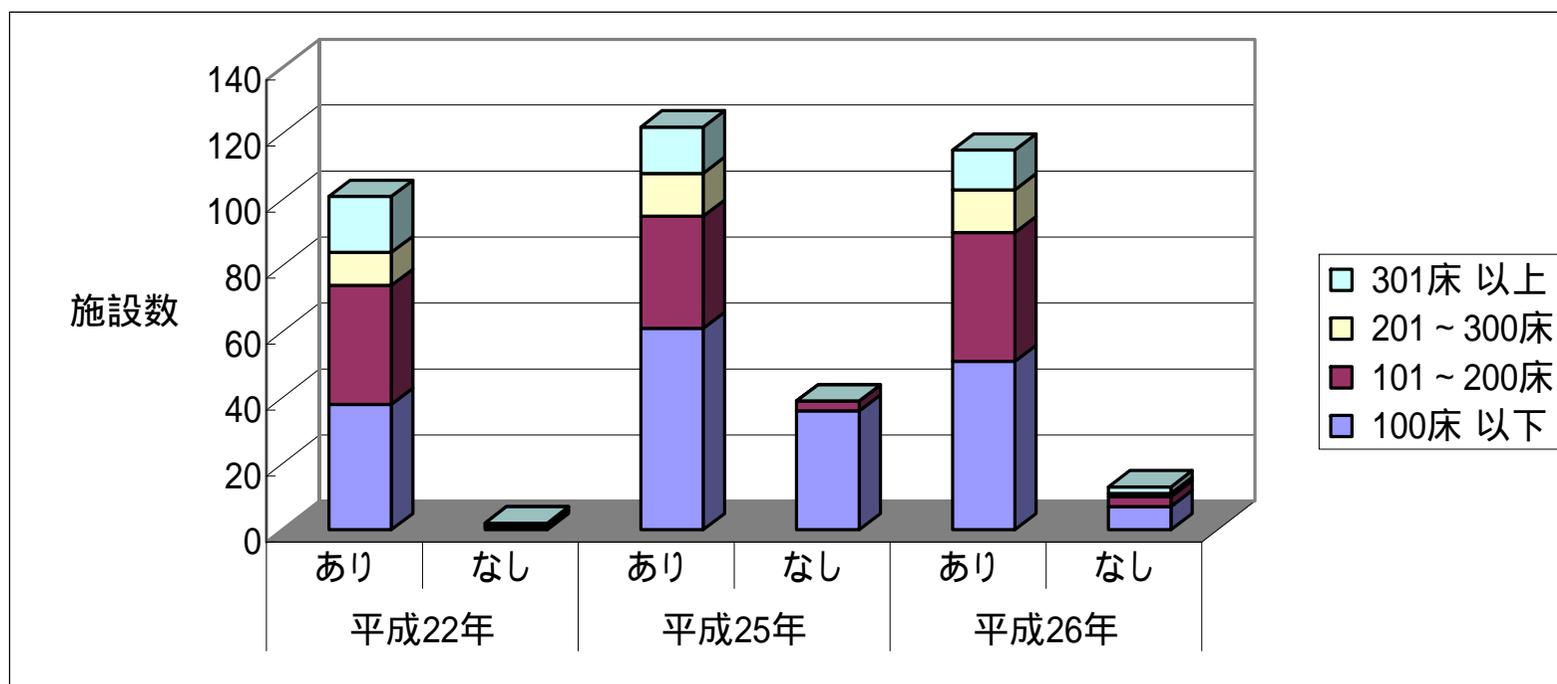
# 回答があった医療機関の規模別分布

病床数	平成19年		平成23年		平成26年		平成27年	
100床 以下	48	39.7%	39	37.8%	97	60.2%	58	45.3%
101～200床	42	34.7%	36	35.0%	37	30.0%	42	32.8%
201～300床	14	11.6%	11	10.7%	13	8.1%	14	10.9%
301床 以上	17	14.0%	17	16.5%	14	8.7%	14	10.9%
合 計	121		103		161		128	



# 血液製剤の使用施設の割合

病床数	平成22年			平成25年			平成26年		
	あり	なし	合計	あり	なし	合計	あり	なし	合計
100床以下	38	1	39	61	36	97	51	7	58
101～200床	36	0	36	34	3	37	39	3	42
201～300床	10	1	11	13	0	13	13	1	14
301床以上	17	0	17	14	0	14	12	2	14
合計	101	2	103	122	39	161	115	13	128



# 赤血球製剤使用量(病床規模別)

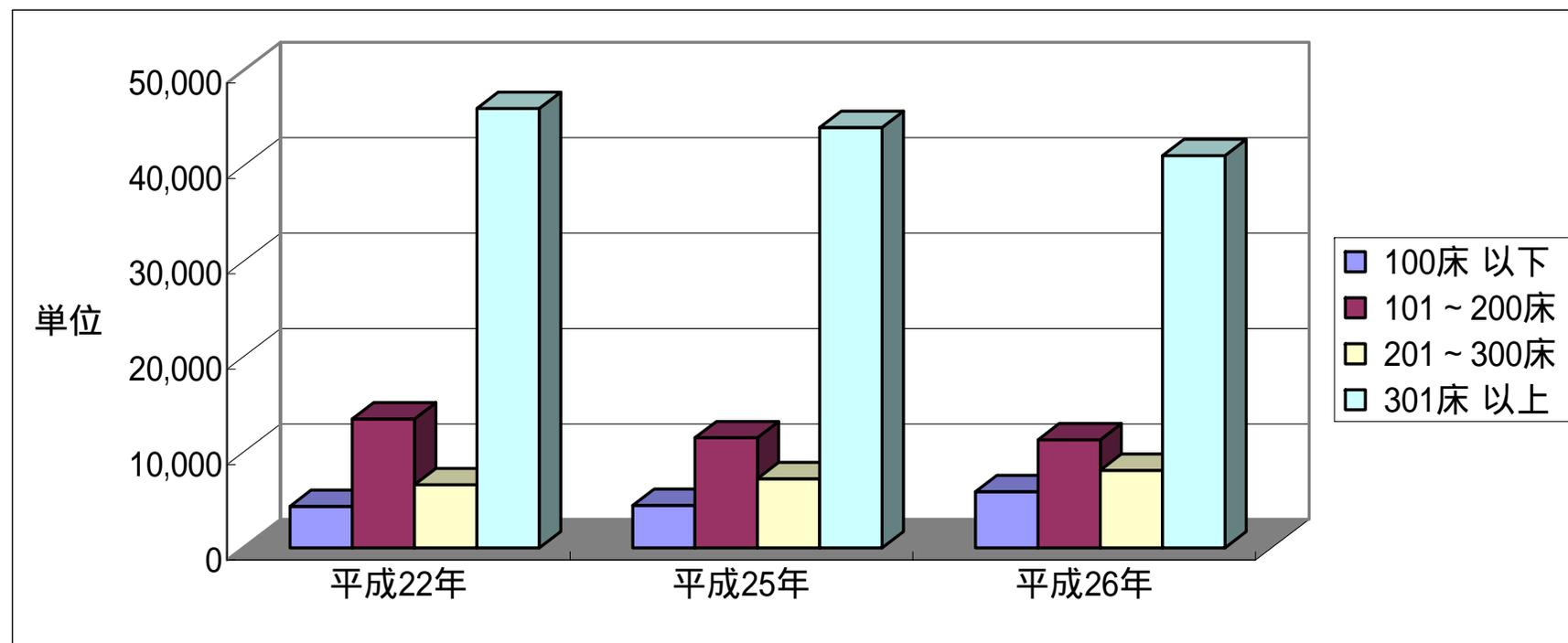
赤血球使用量(単位)

病床数	平成22年	平成25年	平成26年
100床以下	4,346	4,457	5,892
101～200床	13,502	11,529	11,311
201～300床	6,601	7,238	8,124
301床以上	46,054	44,065	41,106
合計	70,503	67,289	66,433

【平成26年度供給実績】(血液センター)

78,365 単位

(アンケート回収率: 84.8%)



# 血小板製剤使用量(病床規模別)

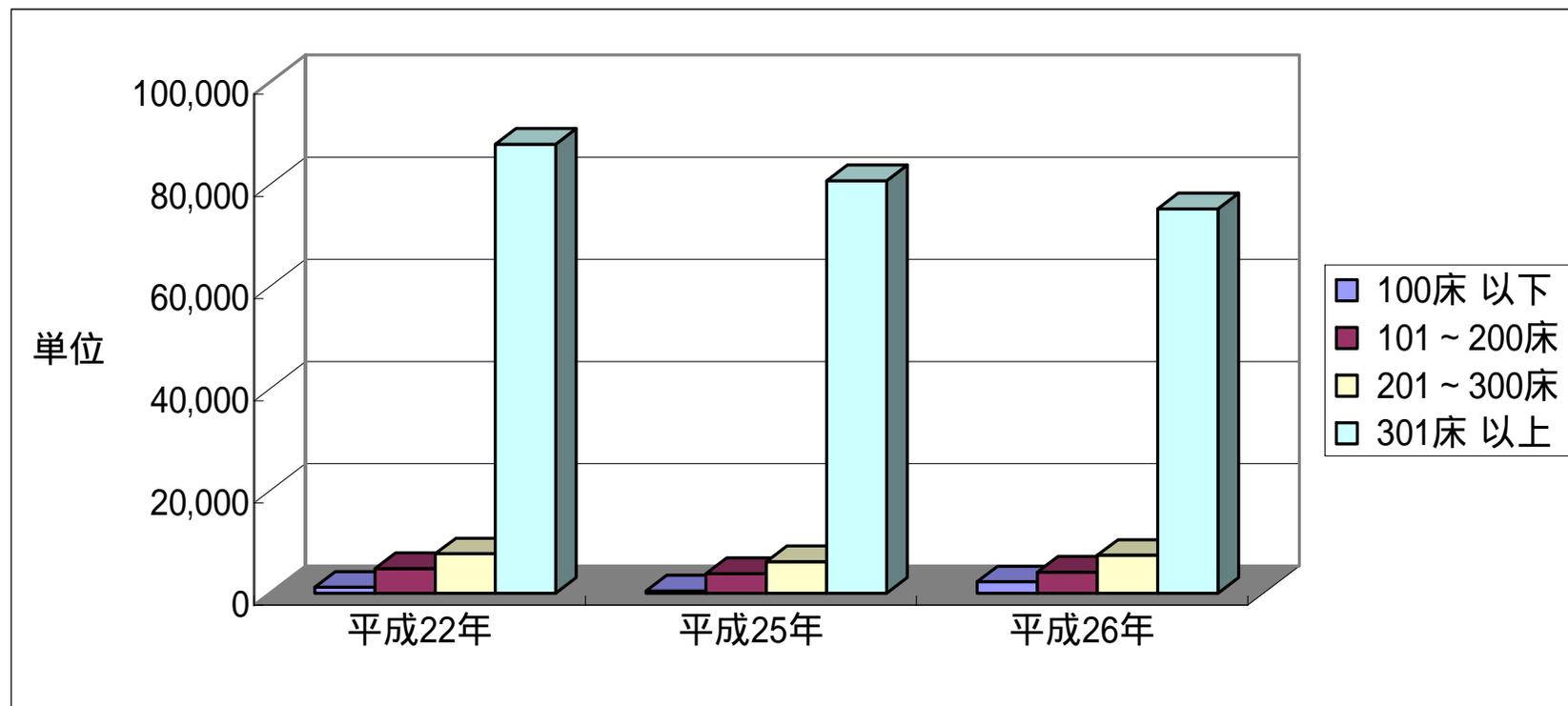
血小板使用量(単位)

病床数	平成22年	平成25年	平成26年
100床以下	1,170	488	2,227
101～200床	4,837	3,865	4,136
201～300床	7,730	6,165	7,420
301床以上	87,915	80,770	75,280
合計	101,652	91,288	89,063

【平成26年度供給実績】(血液センター)

91,855 単位

(アンケート回収率: 97.0%)



# 血漿製剤使用量(病床規模別)

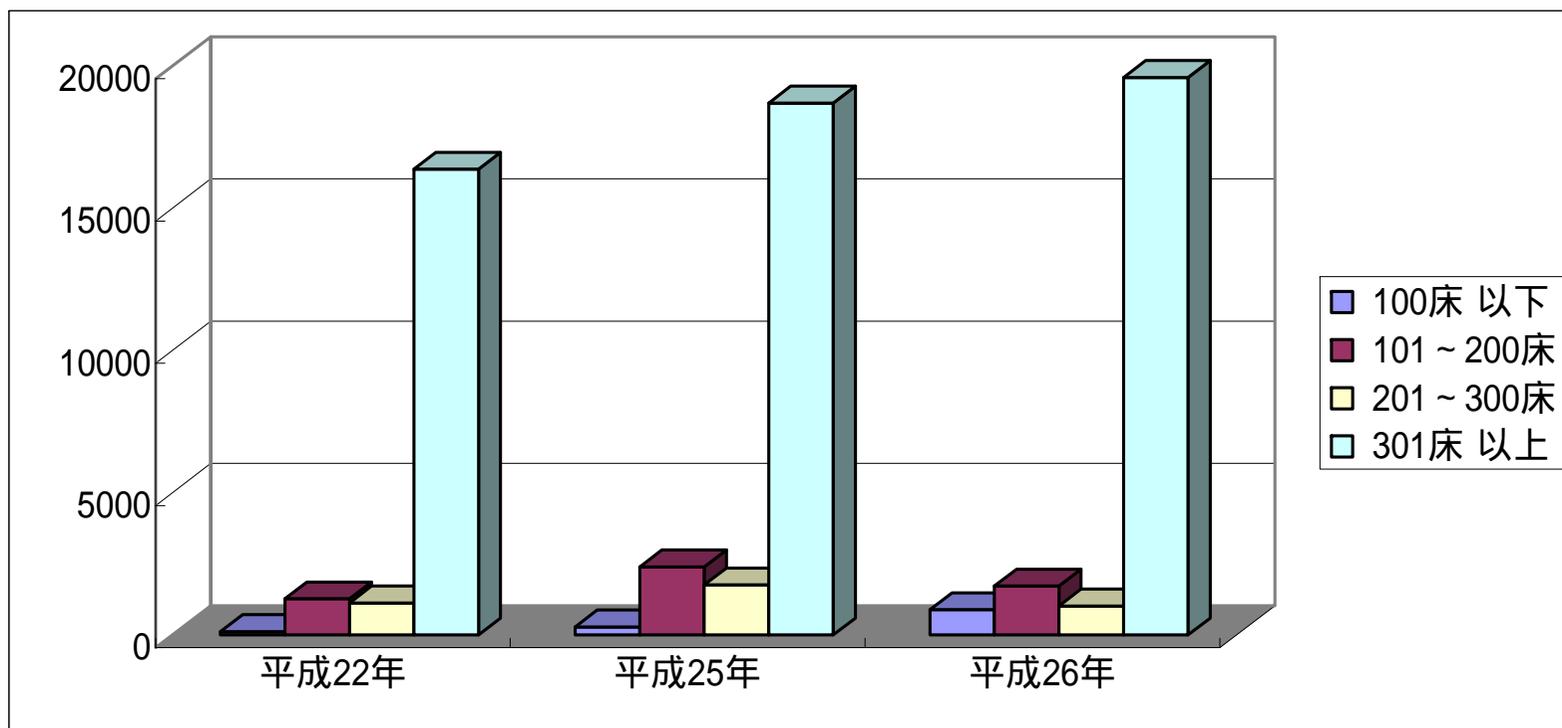
血漿使用量(単位)

病床数	平成22年	平成25年	平成26年
100床以下	119	285	890
101～200床	1,272	2,397	1,725
201～300床	1,128	1,762	1,022
301床以上	16,382	18,708	19,608
合計	18,900	23,152	23,245

【平成26年度供給実績】(血液センター)

34,473 単位

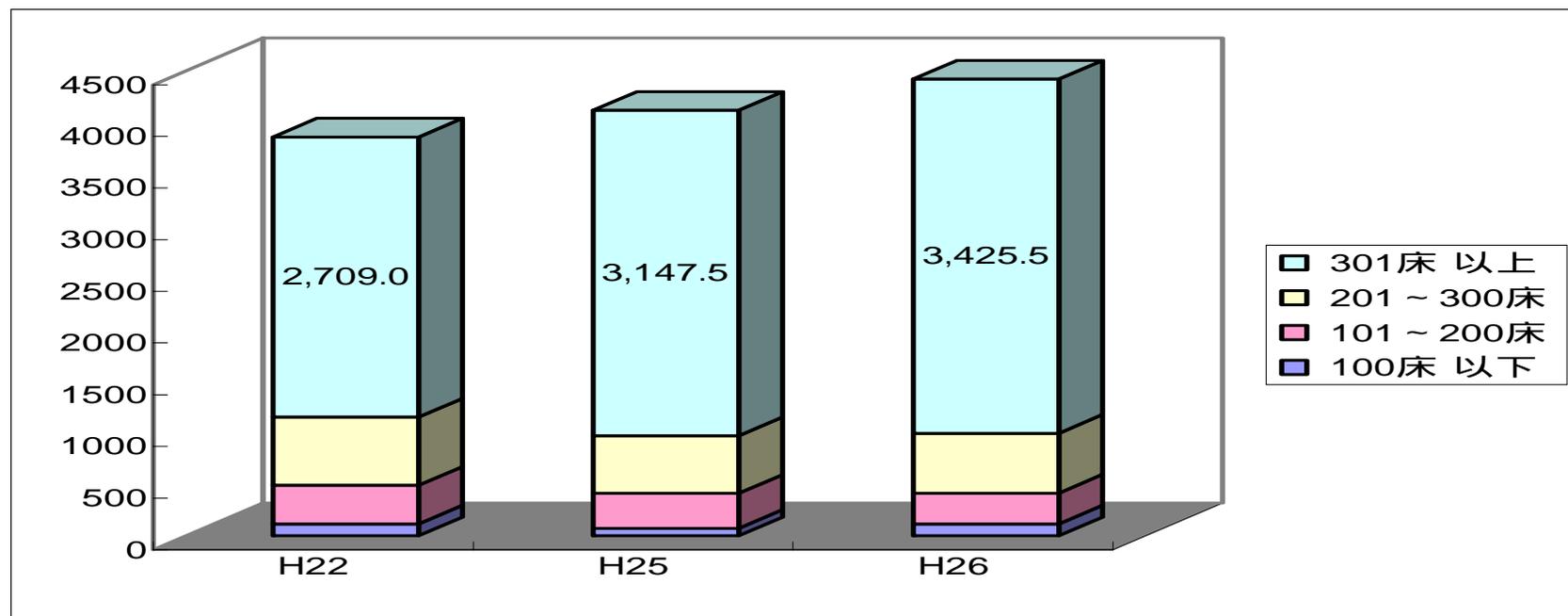
(アンケート回収率: 67.4%)



# 1 施設あたりの使用量 (赤血球製剤)

1 施設あたりの使用量 (赤血球製剤; 単位)

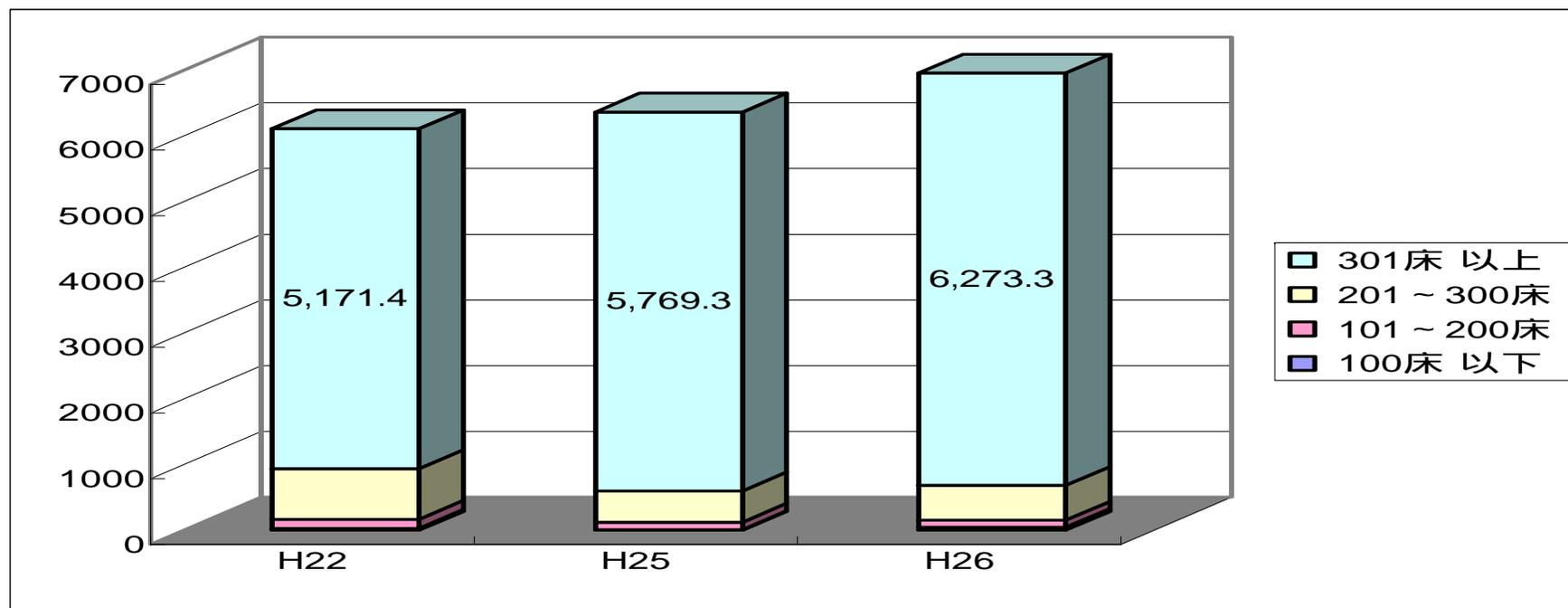
病 床 数	H22	H25	H26
100床 以下	114.3	73.1	115.5
101 ~ 200床	375.0	339.1	297.7
201 ~ 300床	660.1	556.8	580.3
301床 以上	2,709.0	3,147.5	3,425.5
平均値	698.0	551.5	577.7



# 1 施設あたりの使用量 (血小板製剤)

1 施設あたりの使用量 (血小板製剤 ; 単位)

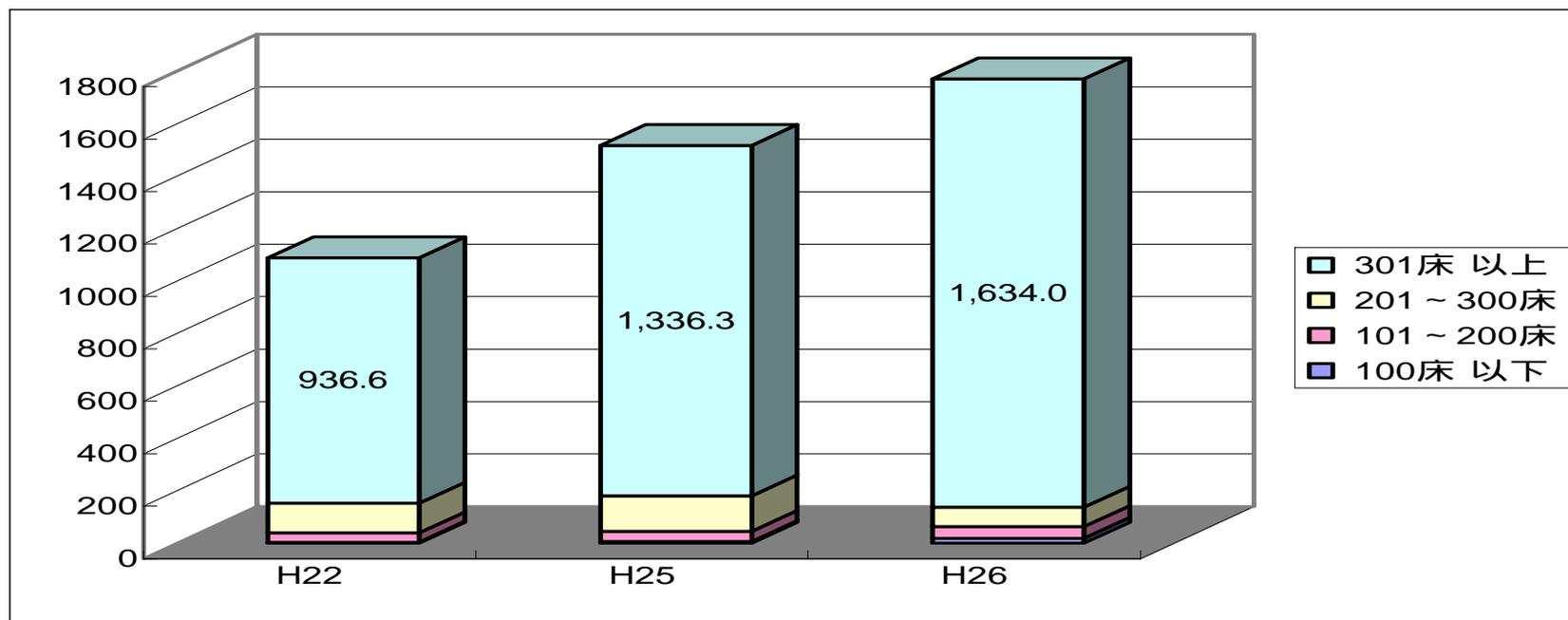
病 床 数	H22	H25	H26
100床 以下	30.8	8.0	43.7
101 ~ 200床	134.3	113.7	108.8
201 ~ 300床	773.0	474.2	530.0
301床 以上	5,171.4	5,769.3	6,273.3
平均値	1,006.4	748.3	774.5



# 1 施設あたりの使用量 (血漿製剤)

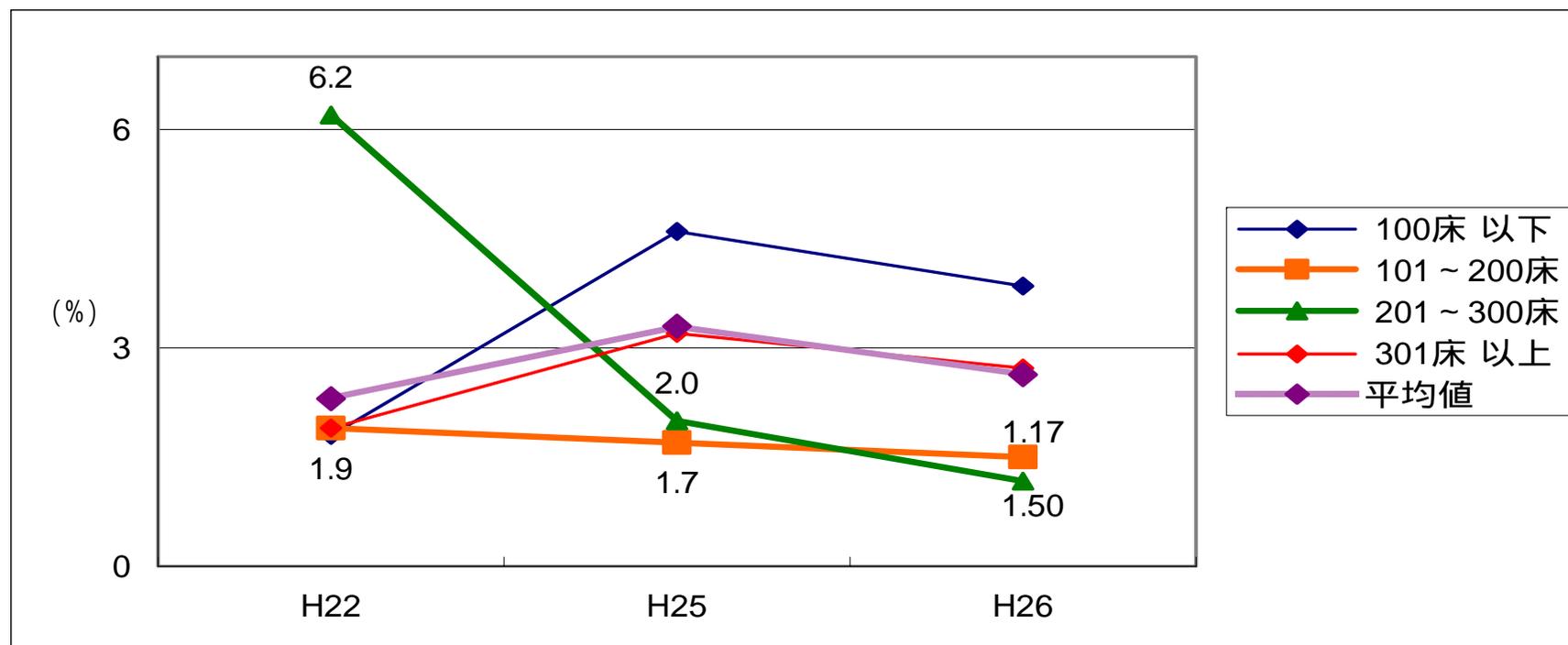
1 施設あたりの使用量 (血漿製剤; 単位)

病 床 数	H22	H25	H26
100床 以下	3.1	4.7	17.5
101 ~ 200床	35.3	39.3	45.4
201 ~ 300床	112.8	135.5	73
301床 以上	936.6	1,336.3	1,634.0
平均値	187.1	189.8	202.1



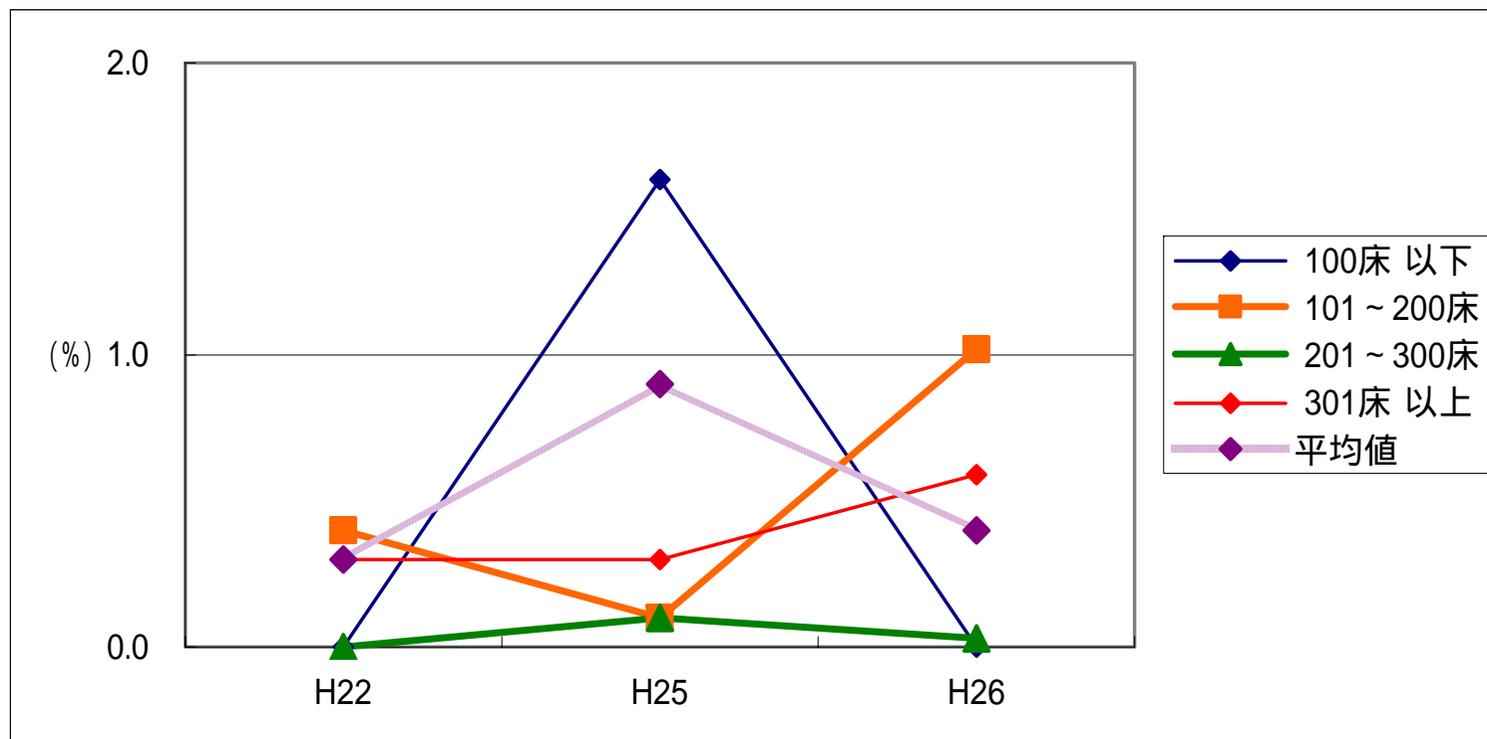
# 廃棄率 (赤血球製剤; %)

病床数	H22	H25	H26
100床以下	1.8	4.6	3.85
101～200床	1.9	1.7	1.50
201～300床	6.2	2.0	1.17
301床以上	1.9	3.2	2.72
平均値	2.3	3.3	2.63



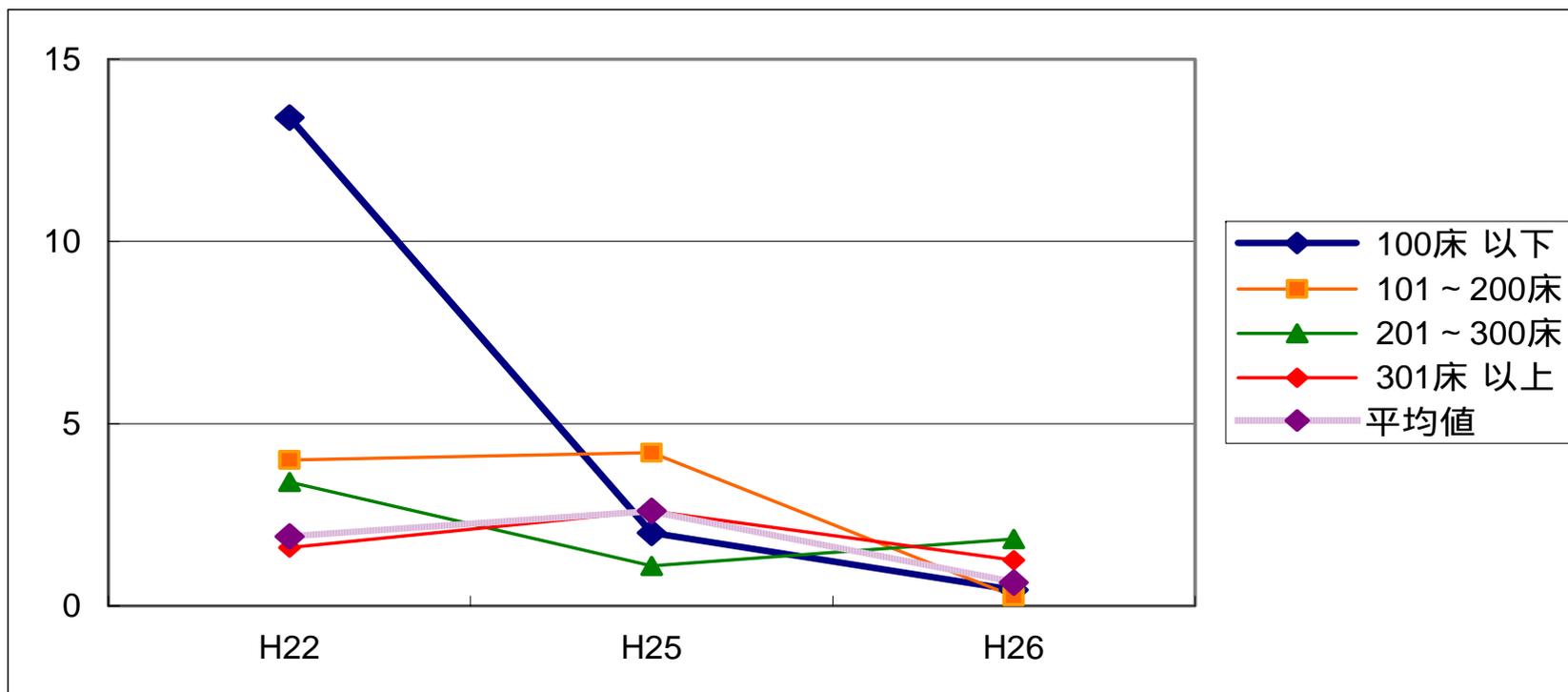
# 廃棄率 (血小板製剤; %)

病床数	H22	H25	H26
100床以下	0.0	1.6	0.00
101～200床	0.4	0.1	1.02
201～300床	0.0	0.1	0.03
301床以上	0.3	0.3	0.59
平均値	0.3	0.9	0.40



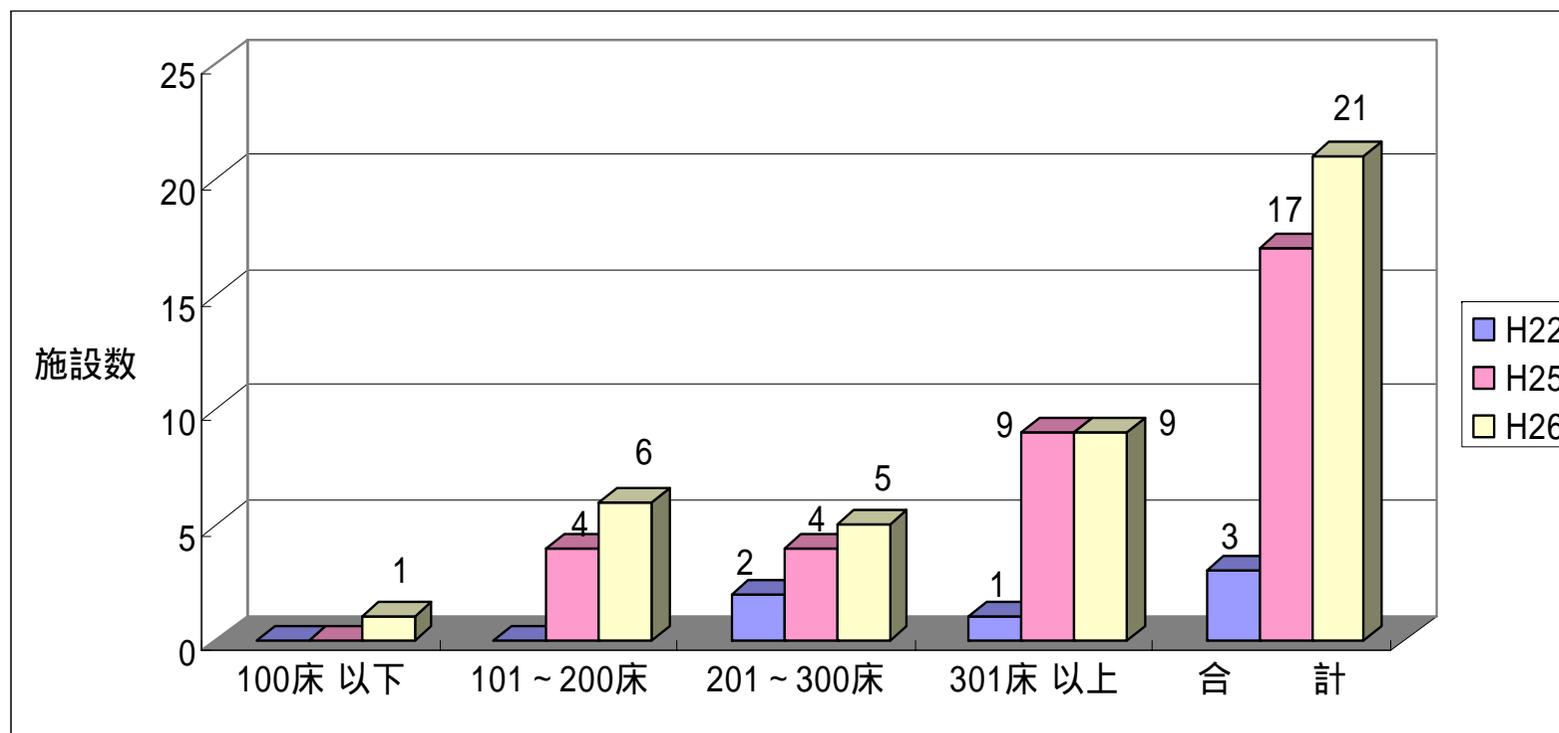
# 廃棄率 (血漿製剤; %)

病床数	H22	H25	H26
100床以下	13.4	2.0	0.44
101～200床	4.0	4.2	0.26
201～300床	3.4	1.1	1.83
301床以上	1.6	2.6	1.25
平均値	1.9	2.6	0.64



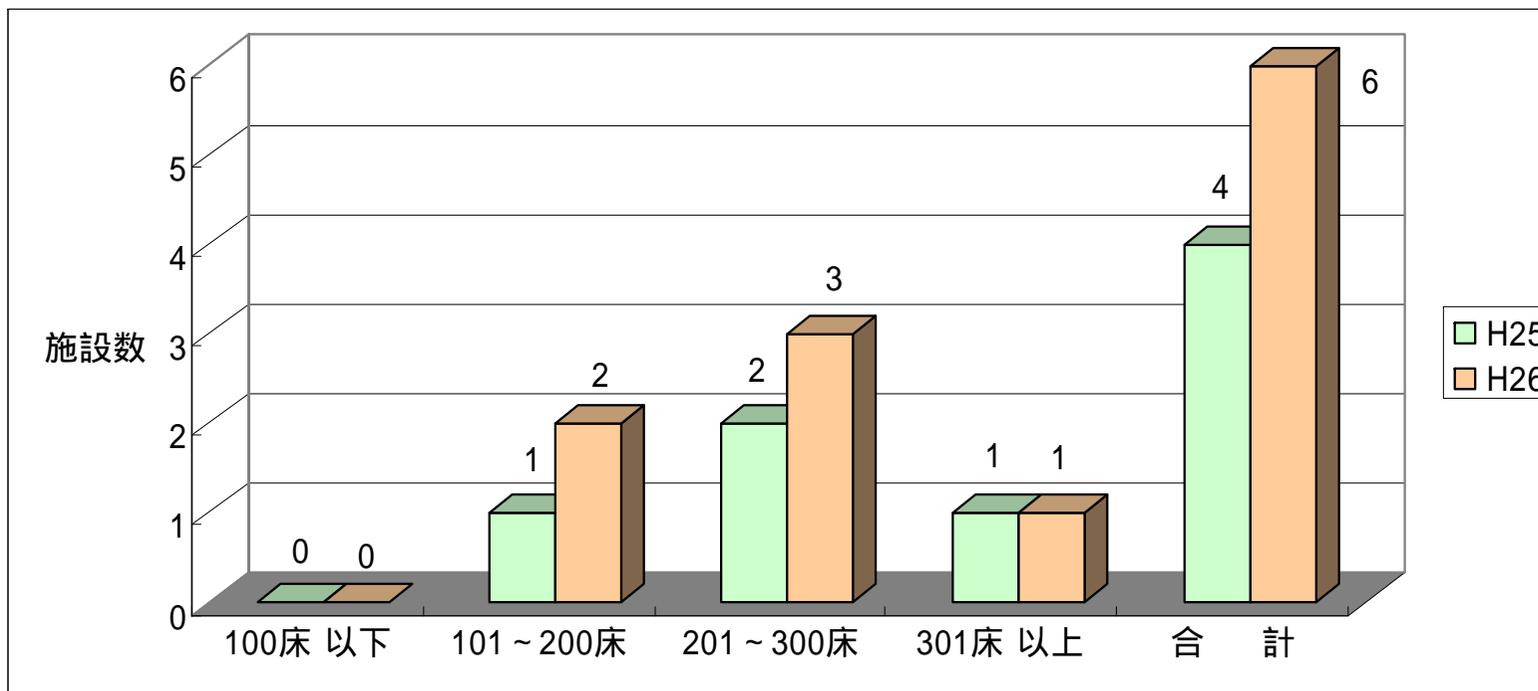
# 輸血管管理料の取得状況

病床数	平成22年					平成25年					平成26年				
	施設数	管理料		未取得	回答なし	施設数	管理料		未取得	回答なし	施設数	管理料		未取得	回答なし
100床以下	38	0	0	37	1	61	0	0	59	2	51	0	1	45	5
		0.0%	0.0%	100.0%	2.6%		0.0%	0.0%	96.7%	3.3%		0.0%	2.0%	88.2%	9.8%
101～200床	36	0	0	36	0	34	0	4	30	0	39	0	6	31	2
		0.00%	0.00%	100.00%	0.0%		0.0%	11.8%	88.2%	0.0%		0.0%	15.4%	79.5%	5.1%
201～300床	10	1	1	8	0	13	0	4	9	0	13	0	5	6	2
		10.0%	10.0%	80.0%	0.0%		0.0%	30.8%	69.2%	0.0%		0.0%	38.5%	46.2%	15.4%
301床以上	17	0	1	16	0	14	1	8	4	1	12	1	8	3	0
		0.0%	5.9%	94.1%	0.0%		7.1%	57.1%	28.6%	7.1%		8.3%	66.7%	25.0%	0.0%
合計	101	1	2	97	1	122	1	16	102	3	115	1	20	85	9
		1.0%	2.0%	97.0%	1.0%		0.8%	13.1%	83.6%	2.5%		0.9%	17.4%	73.9%	7.8%



# 適正管理加算の取得状況

病床数	平成25年				平成26年			
	施設数	取得あり	取得なし	回答なし	施設数	取得あり	取得なし	回答なし
100床以下	61	0 0.0%	59 96.7%	2 3.3%	51	0 0.0%	45 88.2%	6 11.8%
101～200床	34	1 2.9%	33 97.1%	0 0.0%	39	2 5.1%	33 84.6%	3 7.7%
201～300床	13	2 15.4%	11 84.6%	0 0.0%	13	3 23.1%	9 69.2%	2 15.4%
301床以上	14	1 7.1%	12 85.7%	1 7.1%	12	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%
合計	122	4 3.3%	115 94.3%	3 2.5%	115	6 5.2%	98 85.2%	11 9.6%



# 血液製剤の使用状況等まとめ

病床数	使用量(合計)			使用量(1施設あたり)			廃棄率			輸血管理料 取得	適正使用 加算取得
	赤血球製剤	血小板製剤	血漿製剤	赤血球製剤	血小板製剤	血漿製剤	赤血球製剤	血小板製剤	血漿製剤		
100床以下	↑	↑	↑	→	↑	↑	→	→	↓	↑	→
101~200床	↓	↓	→	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↑
201~300床	↑	↓	→	↓	↓	↓	↓	↑	→	↑	↑
301床以上	↓	↓	↑	↑	↑	↑	→	↑	→	→	→
全体	↓	↓	↑	↓	↓	↑	→	→	↓	↑	↑

血液製剤の使用量は血漿製剤を除き減少傾向であり、全体として廃棄率の低下が見られるなど、使用適正化が図られていると考えられる。

特に、101~200床規模や201~300床規模の医療機関で使用量の低下などが観察されている。

輸血管理料や適正使用加算を取得する施設が若干増加している。

# アルブミン製剤の使用量

等張アルブミン製剤 (5%)

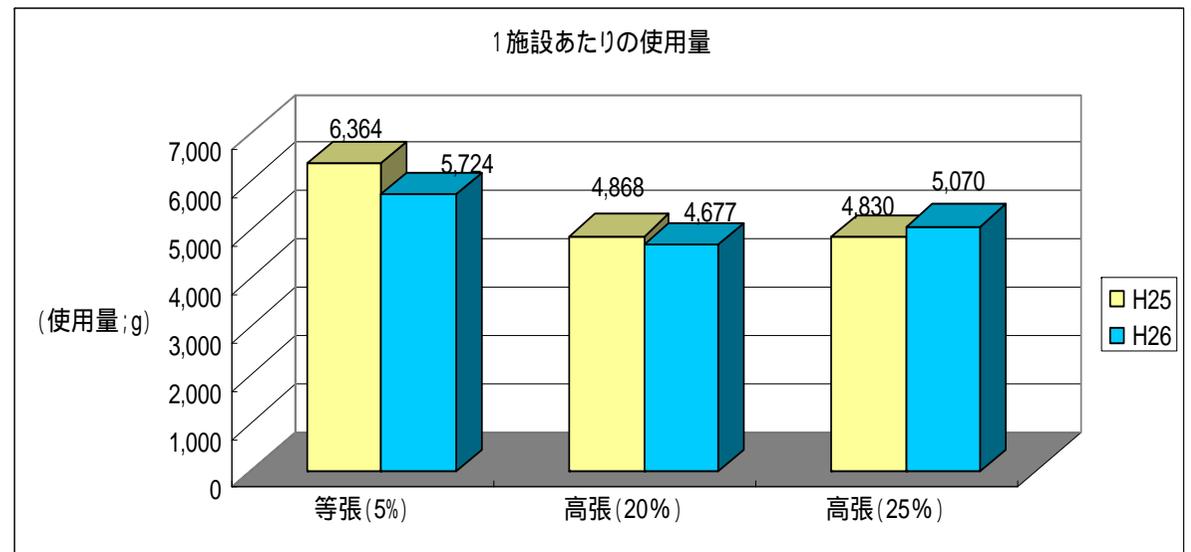
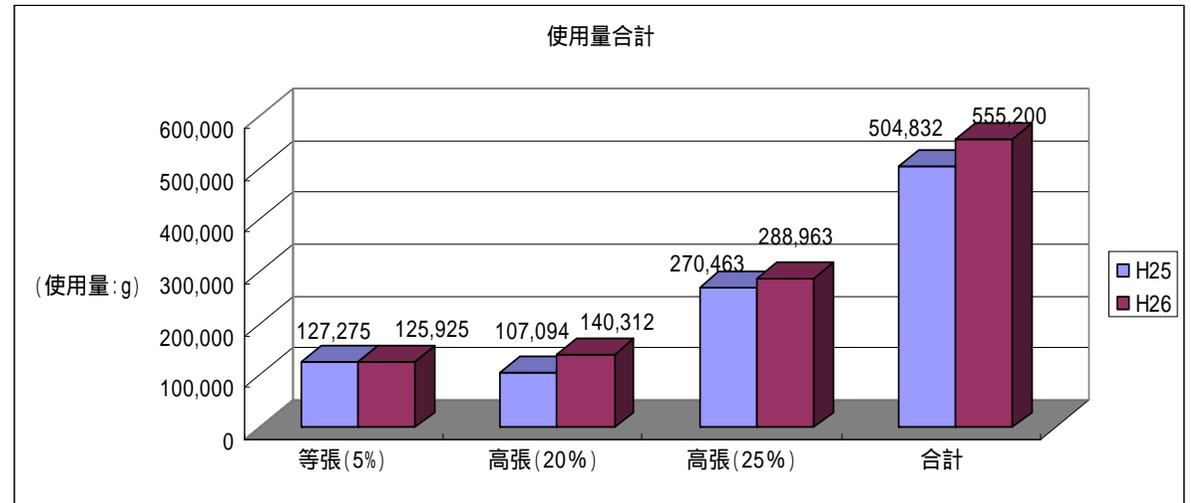
	H25			H26		
	施設数	使用量合計 (g)	1施設平均 使用量 (g)	施設数	使用量合計 (g)	1施設平均 使用量 (g)
100床以下	3	400	133	5	988	198
101～200床	5	5,375	1,075	6	13,938	2,323
201～300床	3	10,725	3,575	3	9,638	3,213
301床以上	9	110,775	12,308	8	101,363	12,670
合計	20	127,275	6,364	22	125,925	5,724

高張アルブミン製剤 (20%)

	H25			H26		
	施設数	使用量合計 (g)	1施設平均 使用量 (g)	施設数	使用量合計 (g)	1施設平均 使用量 (g)
100床以下	8	14,230	1,779	11	20,860	1,896
101～200床	7	7,640	1,091	11	15,300	1,391
201～300床	1	90	90	2	6,430	3,215
301床以上	6	85,134	14,189	6	97,722	16,287
合計	22	107,094	4,868	30	140,312	4,677

高張アルブミン製剤 (25%)

	H25			H26		
	施設数	使用量合計 (g)	1施設平均 使用量 (g)	施設数	使用量合計 (g)	1施設平均 使用量 (g)
100床以下	23	17,375	755	21	36,100	1,719
101～200床	16	71,388	4,462	21	88,925	4,235
201～300床	10	41,488	4,149	8	35,813	4,477
301床以上	7	140,213	20,030	7	128,125	18,304
合計	56	270,463	4,830	57	288,963	5,070



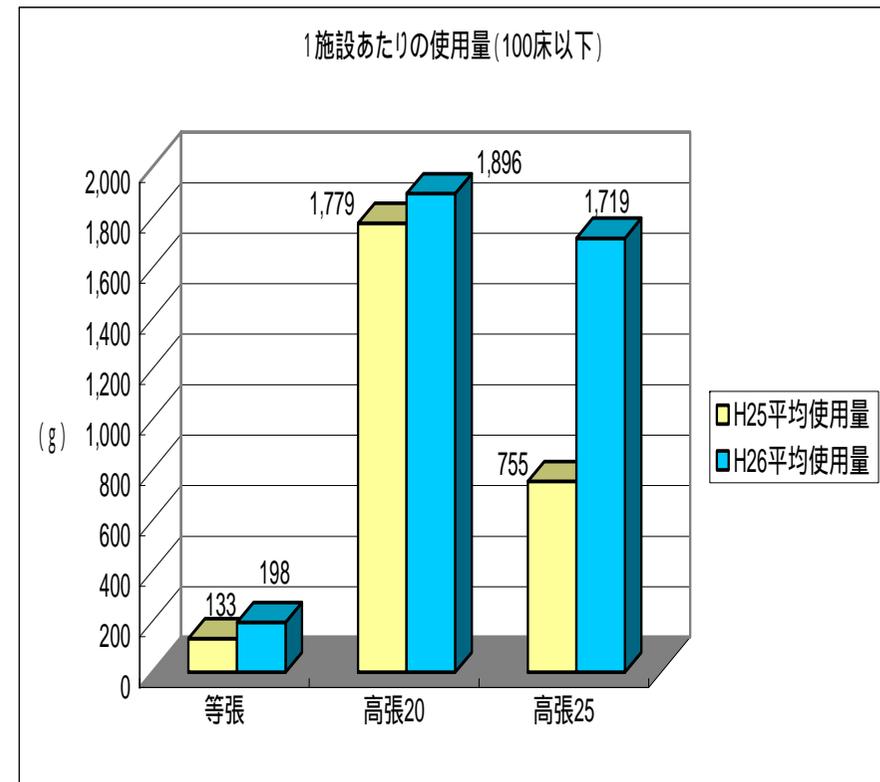
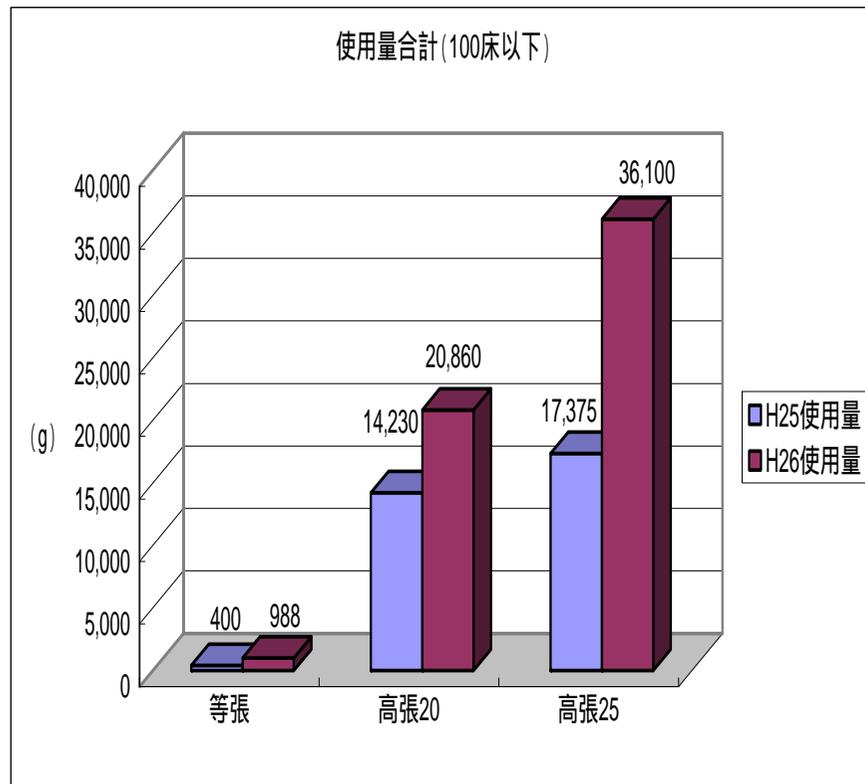
# 病床規模別の使用量 (100床以下)

100床以下

	H25使用量	H26使用量
等張	400	988
高張20	14,230	20,860
高張25	17,375	36,100

100床以下

	H25平均使用量	H26平均使用量
等張	133	198
高張20	1,779	1,896
高張25	755	1,719



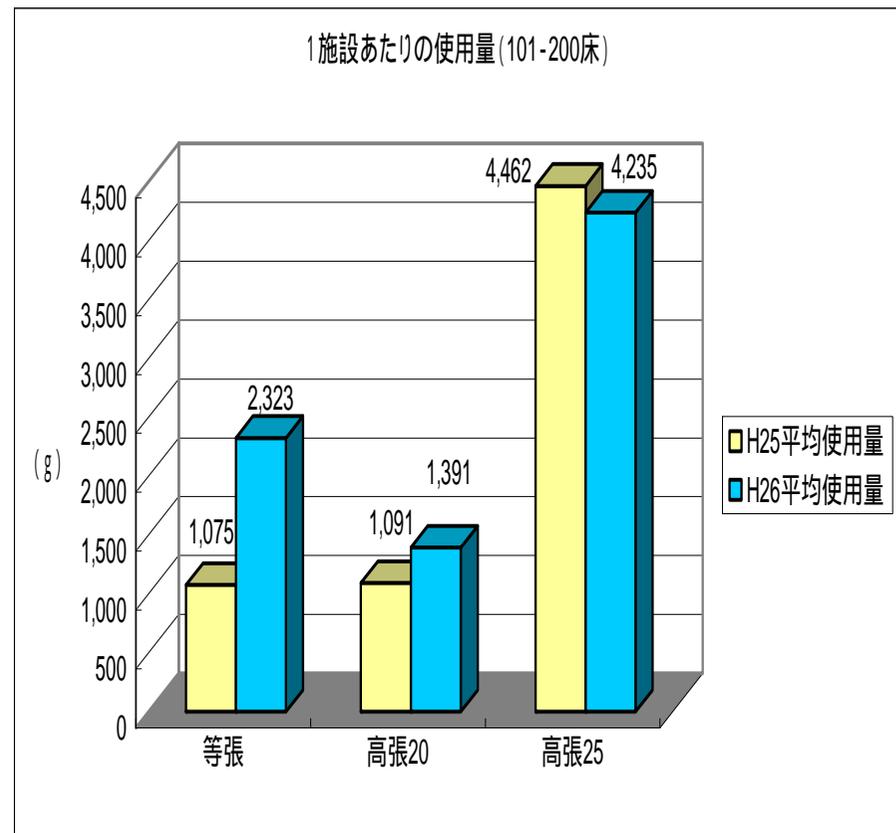
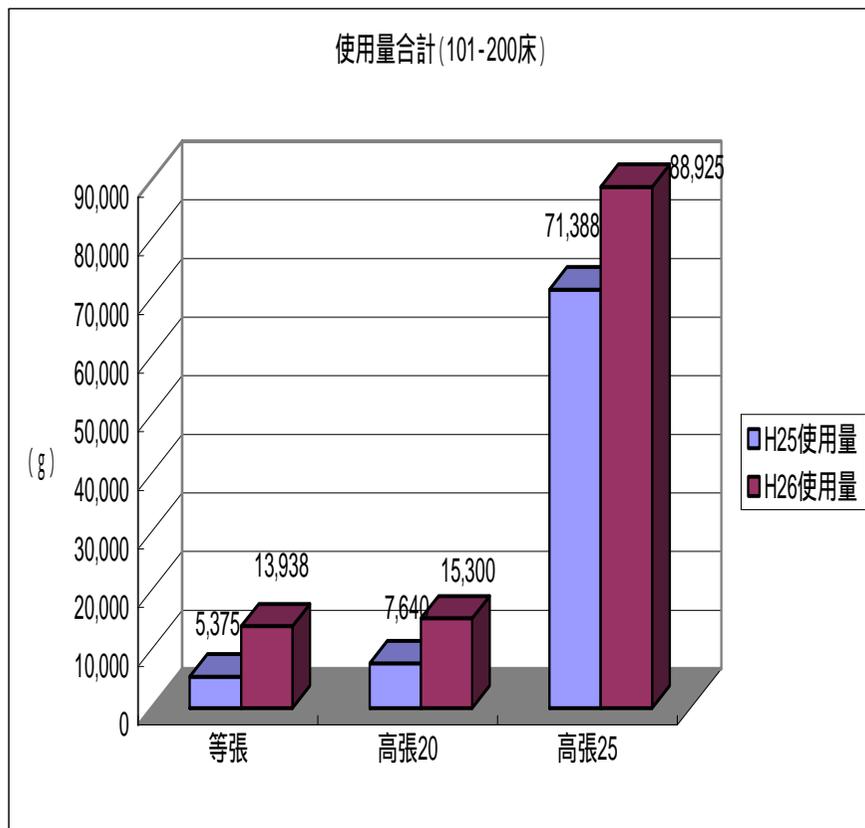
# 病床規模別の使用量 (101-200床)

101-200床

	H25使用量	H26使用量
等張	5,375	13,938
高張20	7,640	15,300
高張25	71,388	88,925

101-200床

	H25平均使用量	H26平均使用量
等張	1,075	2,323
高張20	1,091	1,391
高張25	4,462	4,235



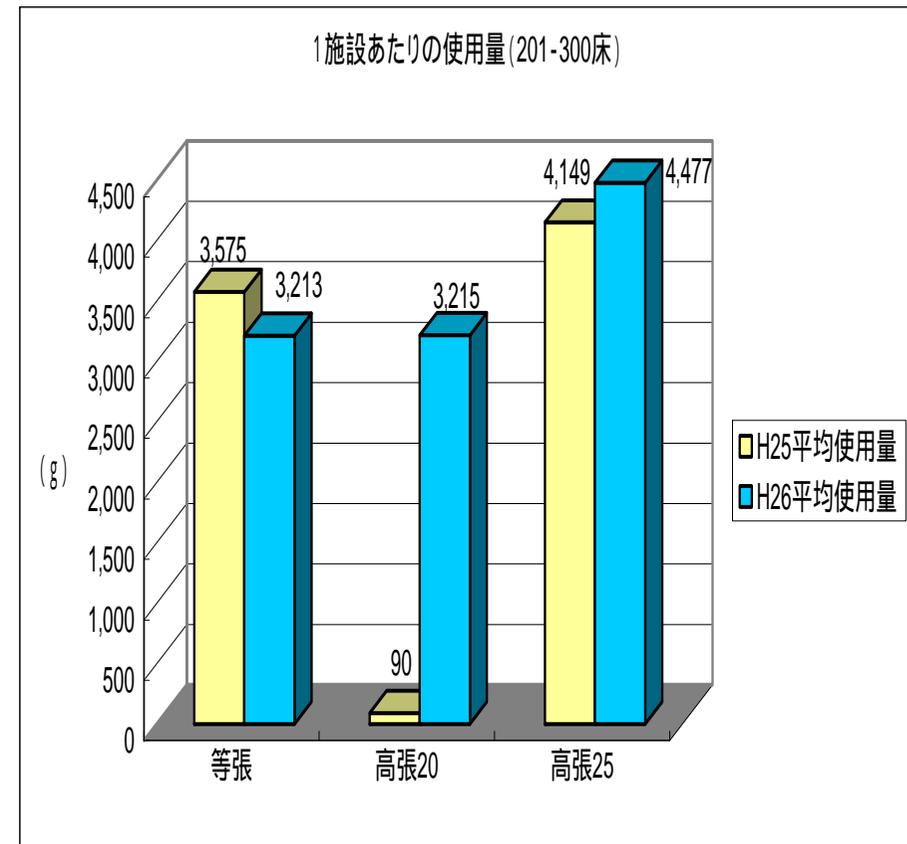
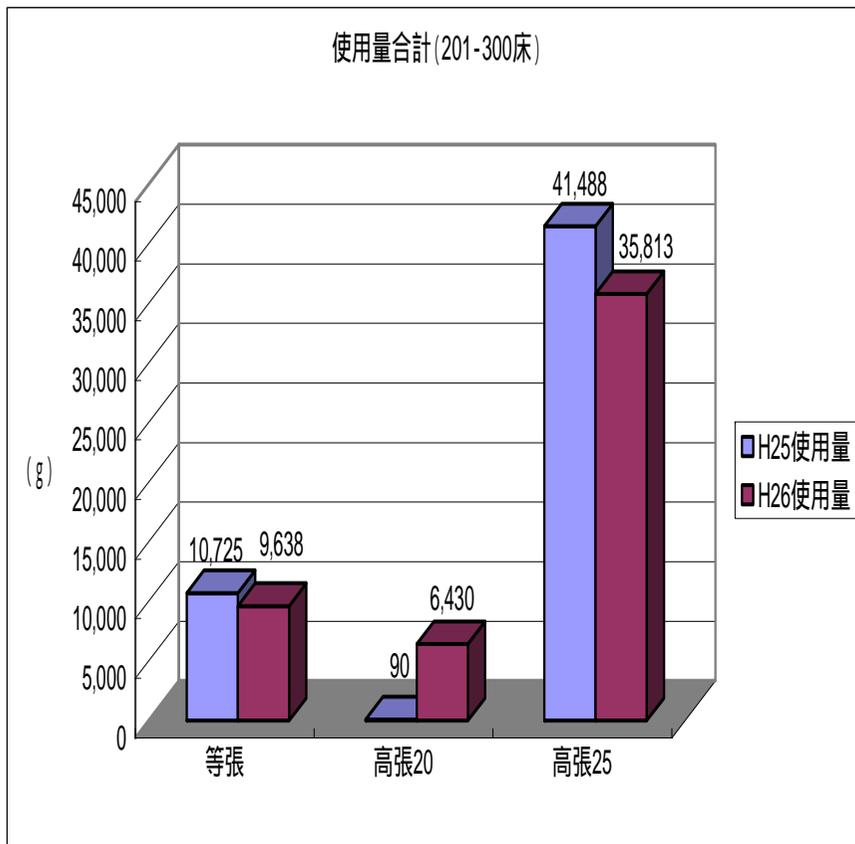
# 病床規模別の使用量 (201-300床)

201-300床

	H25使用量	H26使用量
等張	10,725	9,638
高張20	90	6,430
高張25	41,488	35,813

201-300床

	H25平均使用量	H26平均使用量
等張	3,575	3,213
高張20	90	3,215
高張25	4,149	4,477



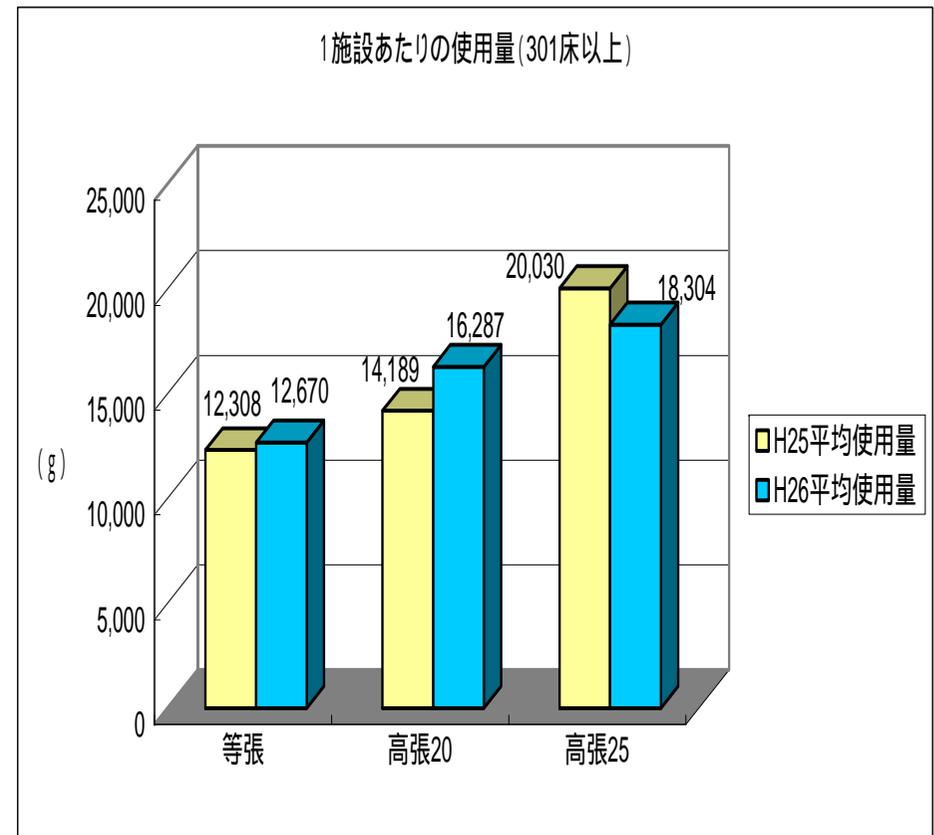
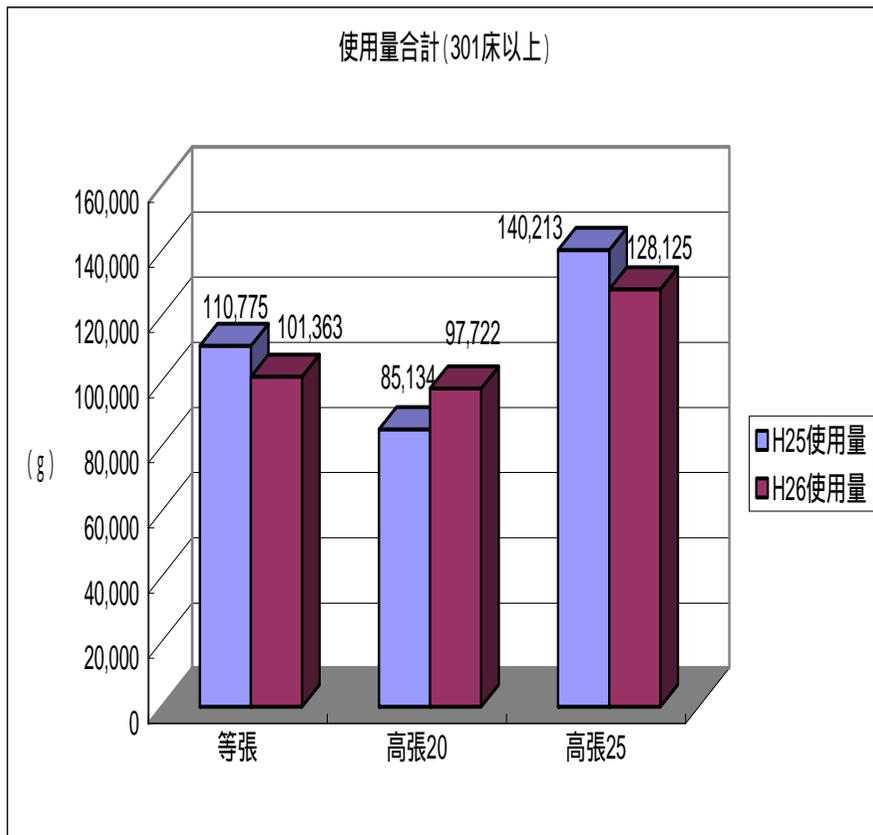
# 病床規模別の使用量 (301床以上)

301床以上

	H25使用量	H26使用量
等張	110,775	101,363
高張20	85,134	97,722
高張25	140,213	128,125

301床以上

	H25平均使用量	H26平均使用量
等張	12,308	12,670
高張20	14,189	16,287
高張25	20,030	18,304



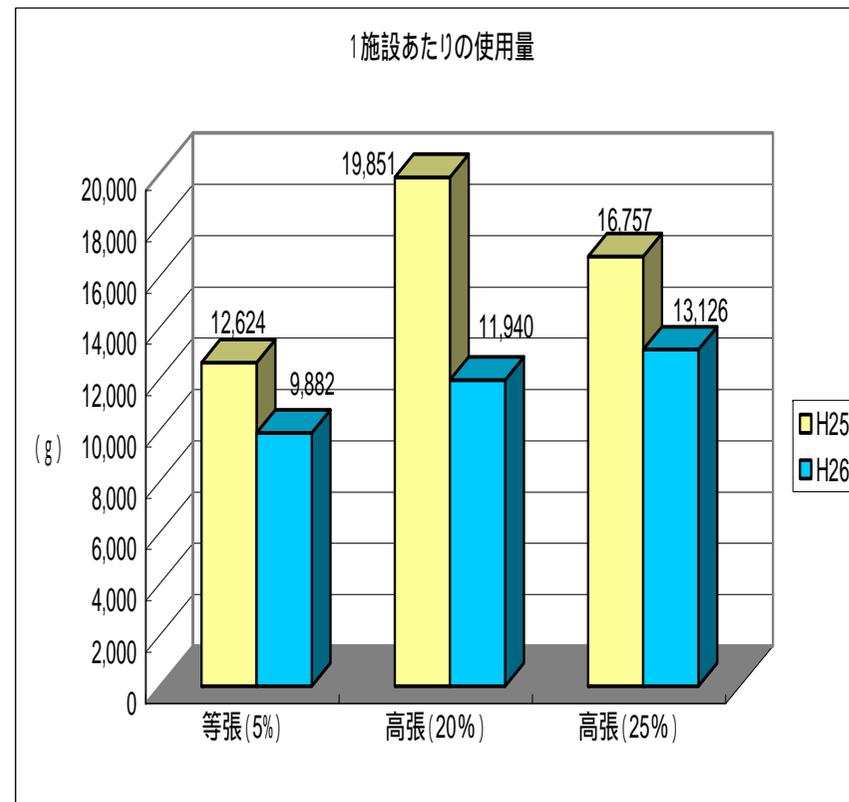
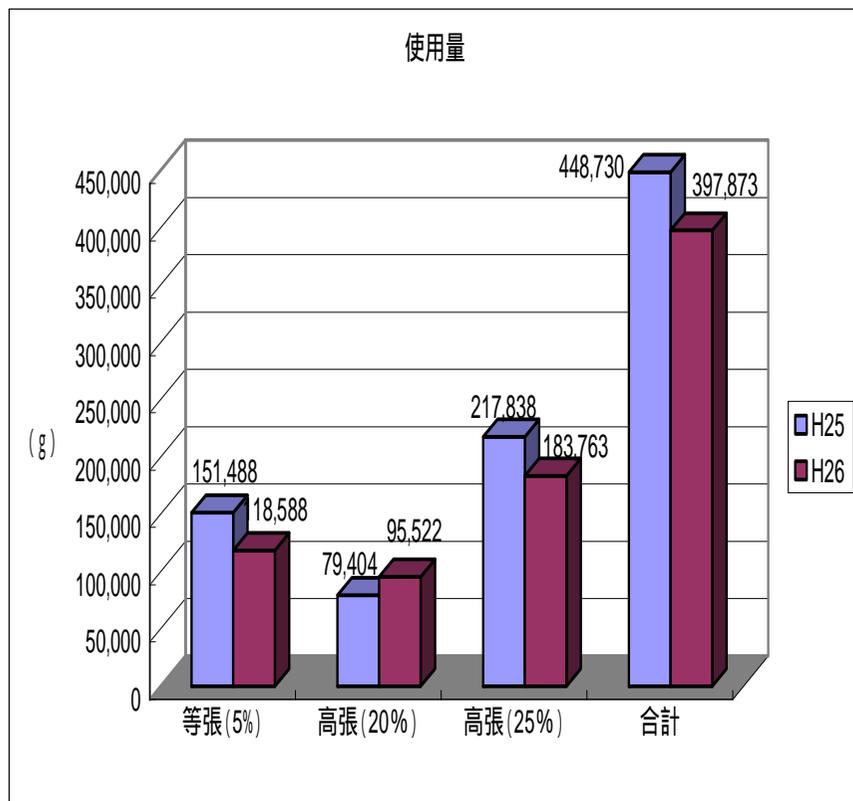
# 輸血管理料取得施設におけるアルブミン製剤使用量

使用量合計

	H25	H26	前年比 (%)
等張 (5%)	151,488	118,588	78.3%
高張 (20%)	79,404	95,522	120.3%
高張 (25%)	217,838	183,763	84.4%
合計	448,730	397,873	88.7%

1施設あたりの使用量

	H25	H26	前年比 (%)
等張 (5%)	12,624	9,882	78.3%
高張 (20%)	19,851	11,940	60.1%
高張 (25%)	16,757	13,126	78.3%



# 輸血管理料取得施設におけるアルブミン製剤使用量の比較

輸血管理料取得施設におけるアルブミン製剤使用量の比較

平成26年高張アルブミン製剤の病床あたりの使用量が多い順に表示

No.	医療機関名	病床規模	赤血球 (単位)		アルブミン(計) (g)		5%アルブミン (g)		20%アルブミン (g)		25%アルブミン (g)		高張 合計 (g)		等張 病床あたり (g)		高張 病床あたり (g)		輸血管理料		適正使用加算	
			H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25
1	医療機関 1	101-200床	1,564	824	16,625	12,288	0	0	0	0	16,625	12,288	16,625	12,288	0.00	0.00	148.44	109.71				
2	医療機関 2	101-200床	287	1,820	16,988	12,063	4,750	3,263	0	0	12,238	8,800	12,238	8,800	26.54	18.23	68.37	49.16				
3	医療機関 3	301床以上	2,287	2,015	24,583	17,650	6,413	4,350	18,170	13,300	0	0	18,170	13,300	20.69	14.03	58.61	42.90				
4	医療機関 4	301床以上	2,136	2,463	19,775	17,188	0	1,113	0	0	19,775	16,075	19,775	16,075	0.00	3.18	56.50	45.93				
5	医療機関 5	301床以上	12,555	13,772	104,579	141,439	60,163	85,325	44,416	56,114	0	0	44,416	56,114	69.79	98.98	51.53	65.10				
6	医療機関 6	301床以上	3,126	3,147	17,625	23,225	1,300	4,063	0	0	16,325	19,163	16,325	19,163	3.71	11.61	46.64	54.75				
7	医療機関 7	301床以上	6,221	6,955	39,750	52,513	9,900	16,138	0	0	29,850	36,375	29,850	36,375	15.40	25.10	46.42	56.57				
8	医療機関 8	301床以上	2,953	1,825	20,314	31,038	5,875	3,875	13,376	0	1,063	27,163	14,439	27,163	16.14	10.65	39.67	74.62				
9	医療機関 9	201-300床	2,274	2,446	14,313	17,813	5,563	6,813	0	0	8,750	11,000	8,750	11,000	21.90	26.82	34.45	43.31				
10	医療機関 10	301床以上	2,150	1,968	11,400	11,508	0	825	11,400	8,770	0	1,913	11,400	10,683	0.00	2.48	34.23	32.08				
11	医療機関 11	301床以上	696	815	9,525	7,200	538	700	0	0	8,988	6,500	8,988	6,500	1.77	2.30	29.56	21.38				
12	医療機関 12	301床以上	7,583	7,796	66,513	77,700	15,175	9,225	0	0	51,338	68,475	51,338	68,475	25.55	15.53	86.43	115.28				
13	医療機関 13	201-300床	876	1,052	6,138	6,900	3,138	3,138	0	0	3,000	3,763	3,000	3,763	11.05	11.05	10.56	13.25				
14	医療機関 14	201-300床	603	804	2,975	4,625	0	0	0	0	2,975	4,625	2,975	4,625	0.00	0.00	10.44	16.23				
15	医療機関 15	100床以下	178	152	763	1,575	0	0	0	0	763	1,575	763	1,575	0.00	0.00	9.53	19.69				
16	医療機関 16	201-300床	932	803	2,000	3,100	0	0	0	0	2,000	3,100	2,000	3,100	0.00	0.00	8.55	13.25				
17	医療機関 17	101-200床	155	197	780	1,220	0	0	780	1,220	0	0	780	1,220	0.00	0.00	7.50	11.73				
18	医療機関 18	101-200床	320	380	570	480	0	0	570	480	0	0	570	480	0.00	0.00	4.07	3.43				
19	医療機関 19	101-200床	168	192	20	0	0	0	20	0	0	0	20	0	0.00	0.00	0.13	0.00				
	合計		46,896	49,426	375,212	439,522	112,813	138,825	88,712	79,884	173,688	220,813	262,400	300,697								
	一施設(19施設)あたり平均		2,468	2,601	19,748	23,133	5,938	7,307	4,669	4,204	9,141	11,622	13,811	15,826								

# 1 病床あたりの使用量の実際

## 等張アルブミン製剤病床あたりの使用量

順位	病床規模	1病床あたりの使用量(g)
1位	301床以上	69.79
2位	101-200床	26.54
3位	301床以上	25.55
4位	101-200床	25.06
5位	201-300床	21.90
6位	301床以上	20.69
7位	100床以下	16.46
8位	301床以上	16.14
9位	301床以上	15.40
10位	101-200床	13.44

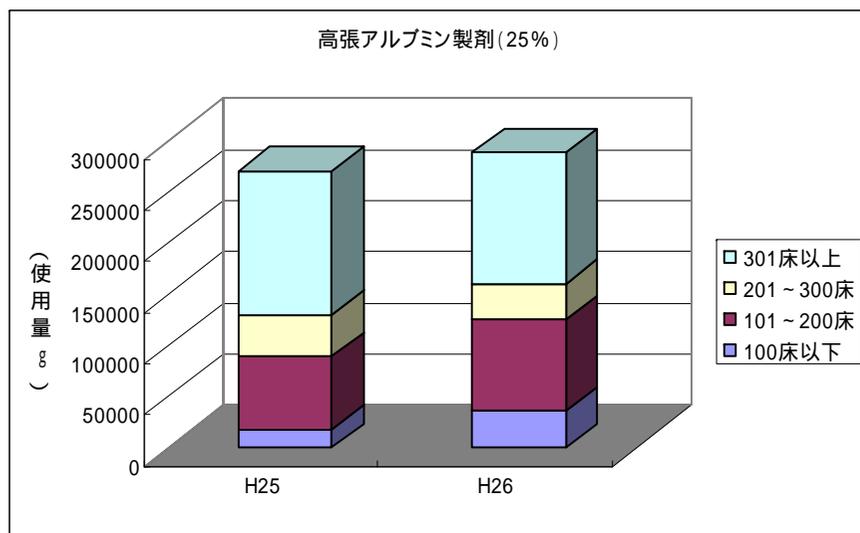
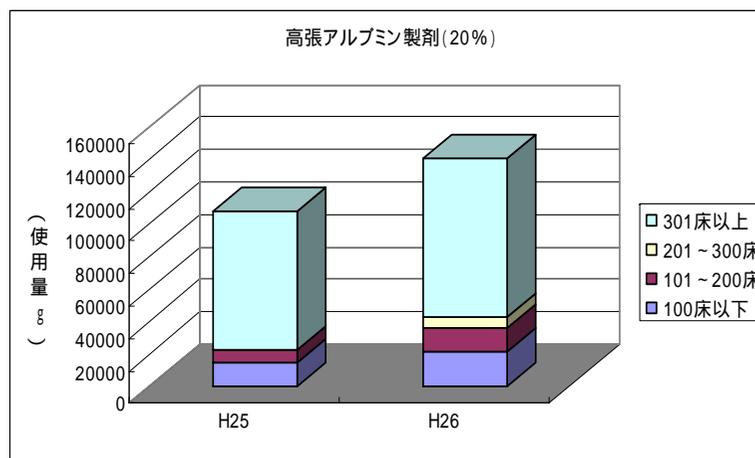
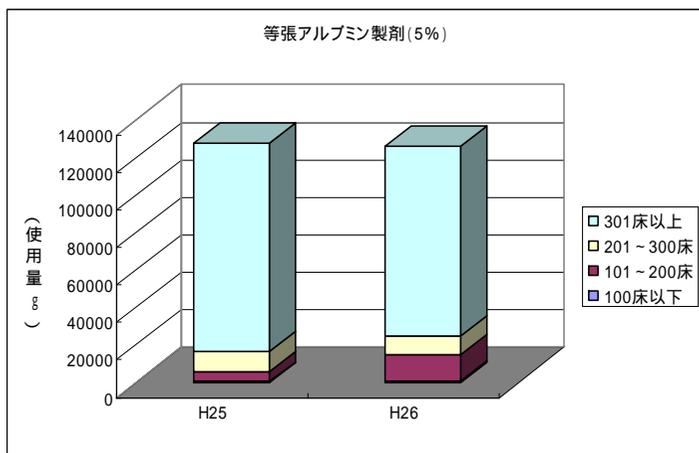
使用している22施設の平均値: 21.67

## 高張アルブミン製剤病床あたりの使用量

順位	病床規模	1病床あたりの使用量(g)
1位	100床以下	380.00
2位	100床以下	180.51
3位	101-200床	148.44
4位	100床以下	137.65
5位	100床以下	101.69
6位	301床以上	86.43
7位	100床以下	81.27
8位	101-200床	73.59
9位	101-200床	70.83
10位	101-200床	68.37

使用している85施設の平均値: 28.92

# 病床規模別の使用量の割合



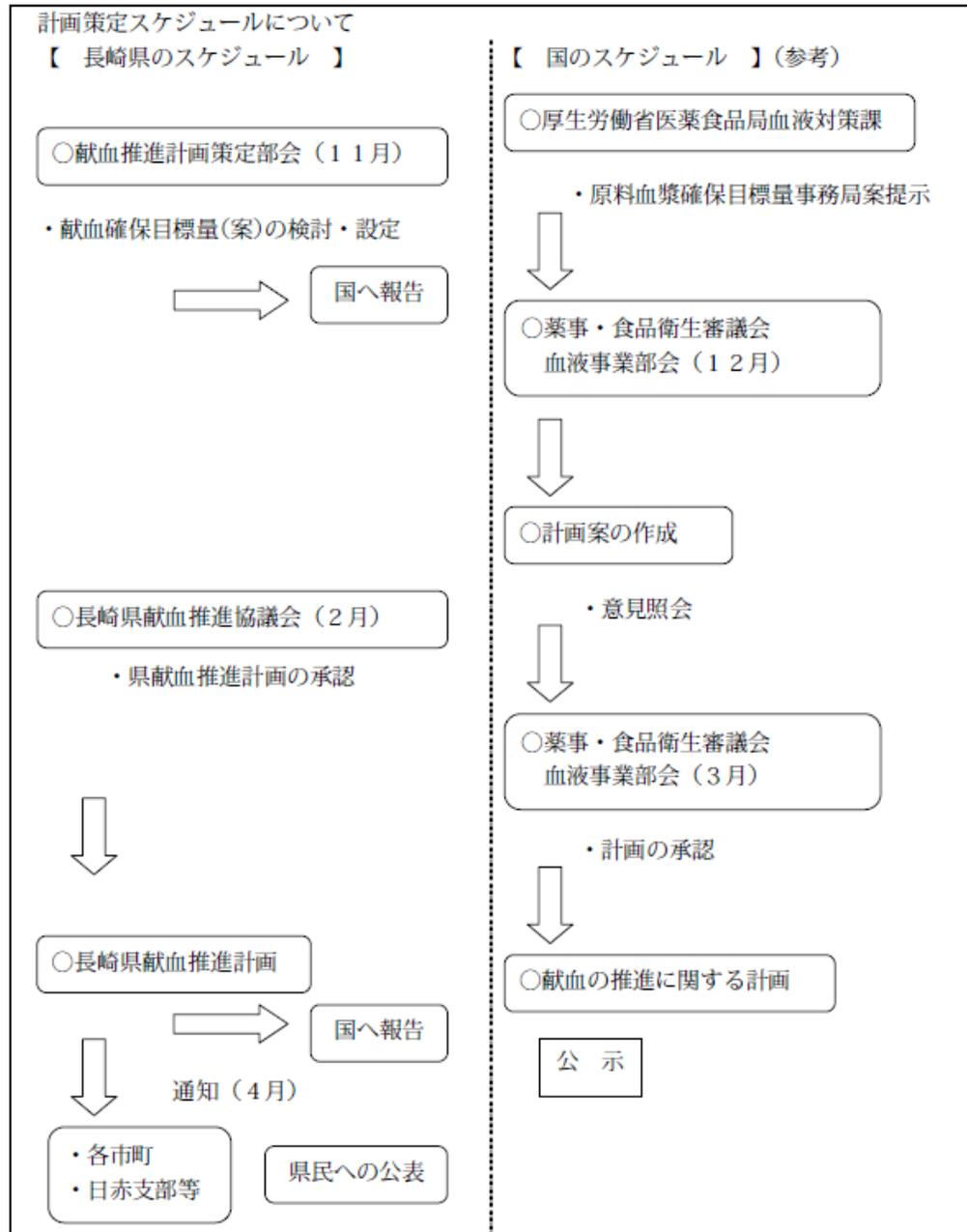
**【200床以下の病床が占める割合】**

**等張製剤: 11.9%**

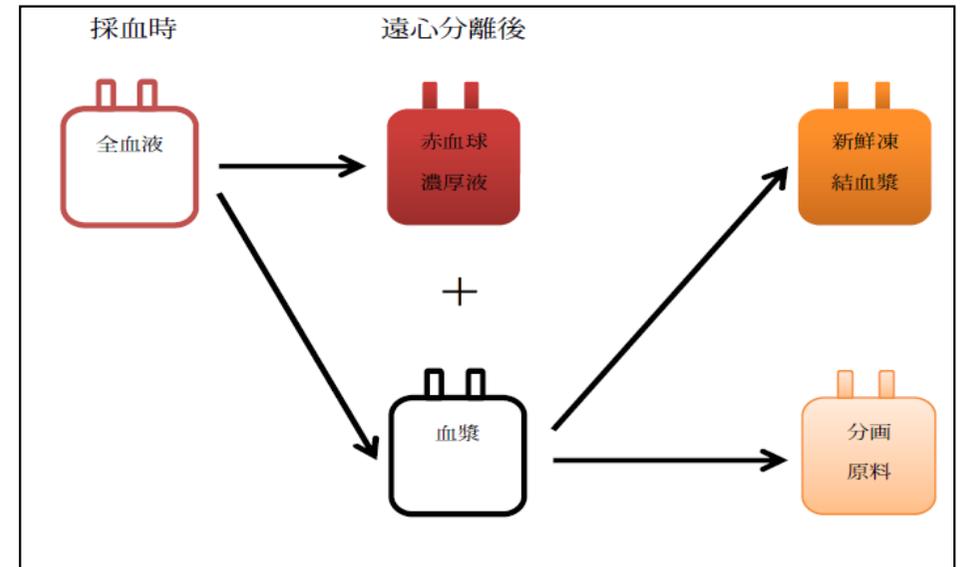
**高張製剤 (20%) : 25.8%**

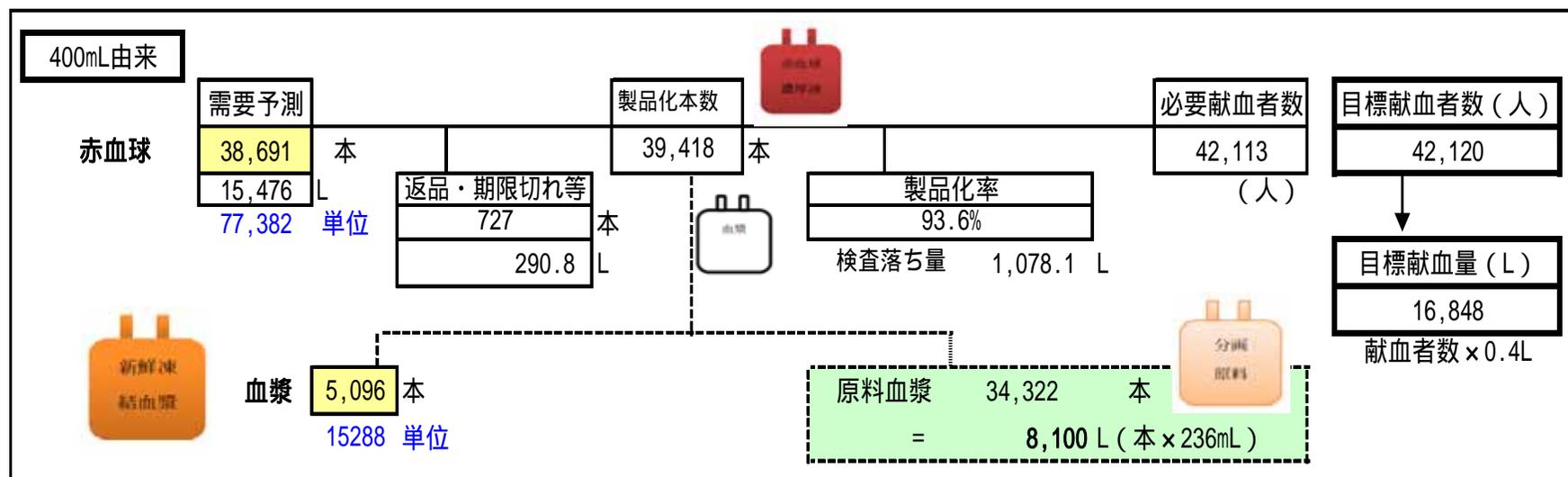
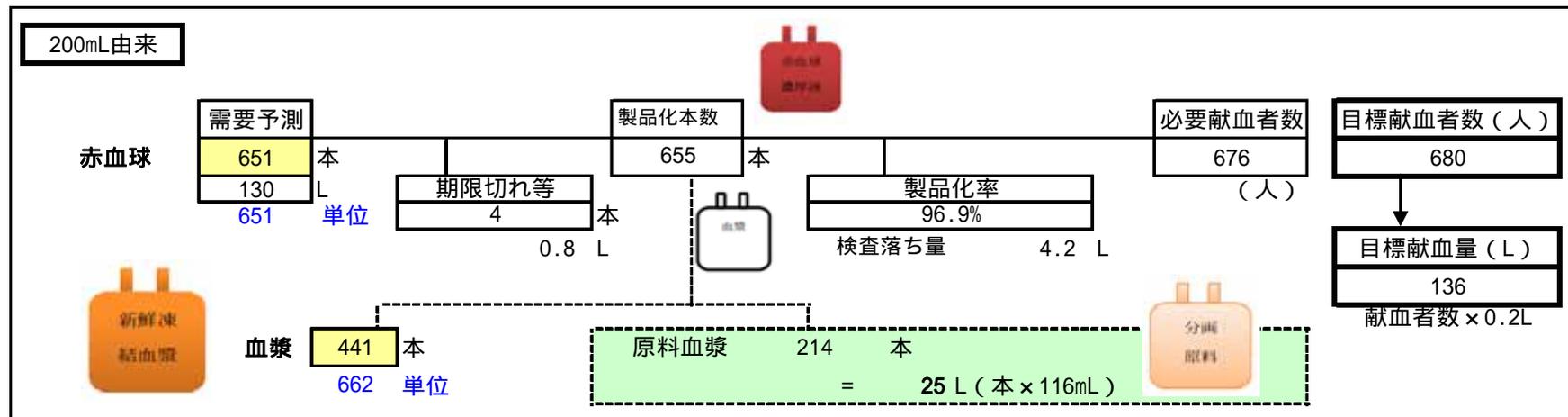
**高張製剤 (25%) : 43.3%**

# (参考) 長崎県献血推進計画の策定



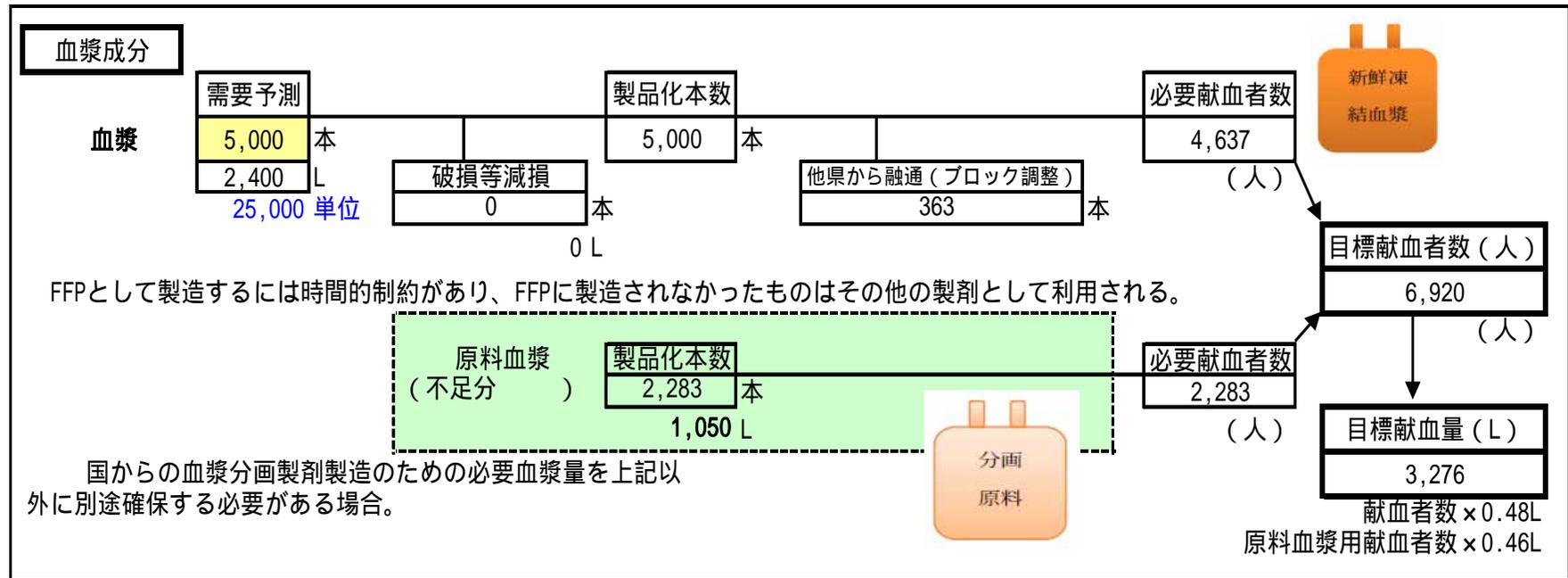
## 【イメージ】 献血血液からの輸血用血液製剤の 製造パターン





**赤血球製剤の製造過程で発生する血漿は、**  
 200ml献血由来の血漿製剤 (FFP-120) : 441本  
 400ml献血由来の血漿製剤 (FFP-240) : 5,096本製造

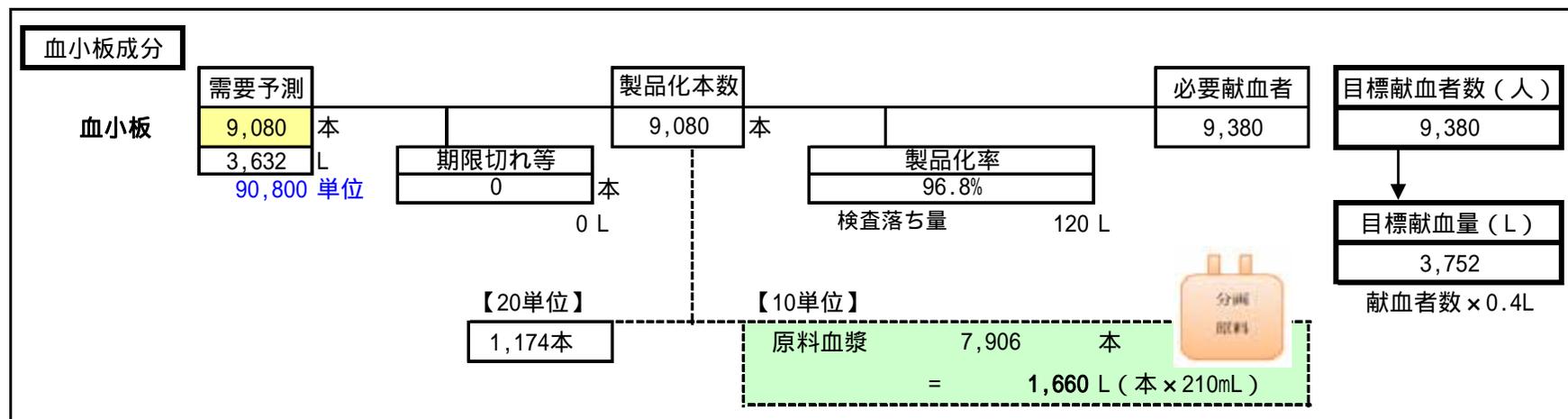
**その他の血漿は血液分画製剤の材料 (原料血漿) として利用。**



成分献血由来の血漿製剤 (FFP-480) の需要予測 = 5,000本

他県から363本分の成分献血を融通することとされたため、長崎県内のFFP-480を供給するための必要献血者数を4,637名に設定。

FFP-120とFFP-240の製造以外に使用される分画製剤用の原料血漿を別途に2,283本を確保するため、目標献血者数を6,920本に設定。



### 平成28年度献血確保目標(案)〔長崎県〕

#### (1)長崎県全体の献血目標数

	平成28年度目標量(案)	平成27年度目標量	対前年度増減
200mL献血	680人	1,040人	△360人
400mL献血	42,120人	43,770人	△1,650人
血漿成分献血	6,920人	4,500人	2,420人
血小板成分献血	9,380人	10,360人	△980人
合計	59,100人	59,670人	△570人
献血量	24,012L	24,020L	△8L

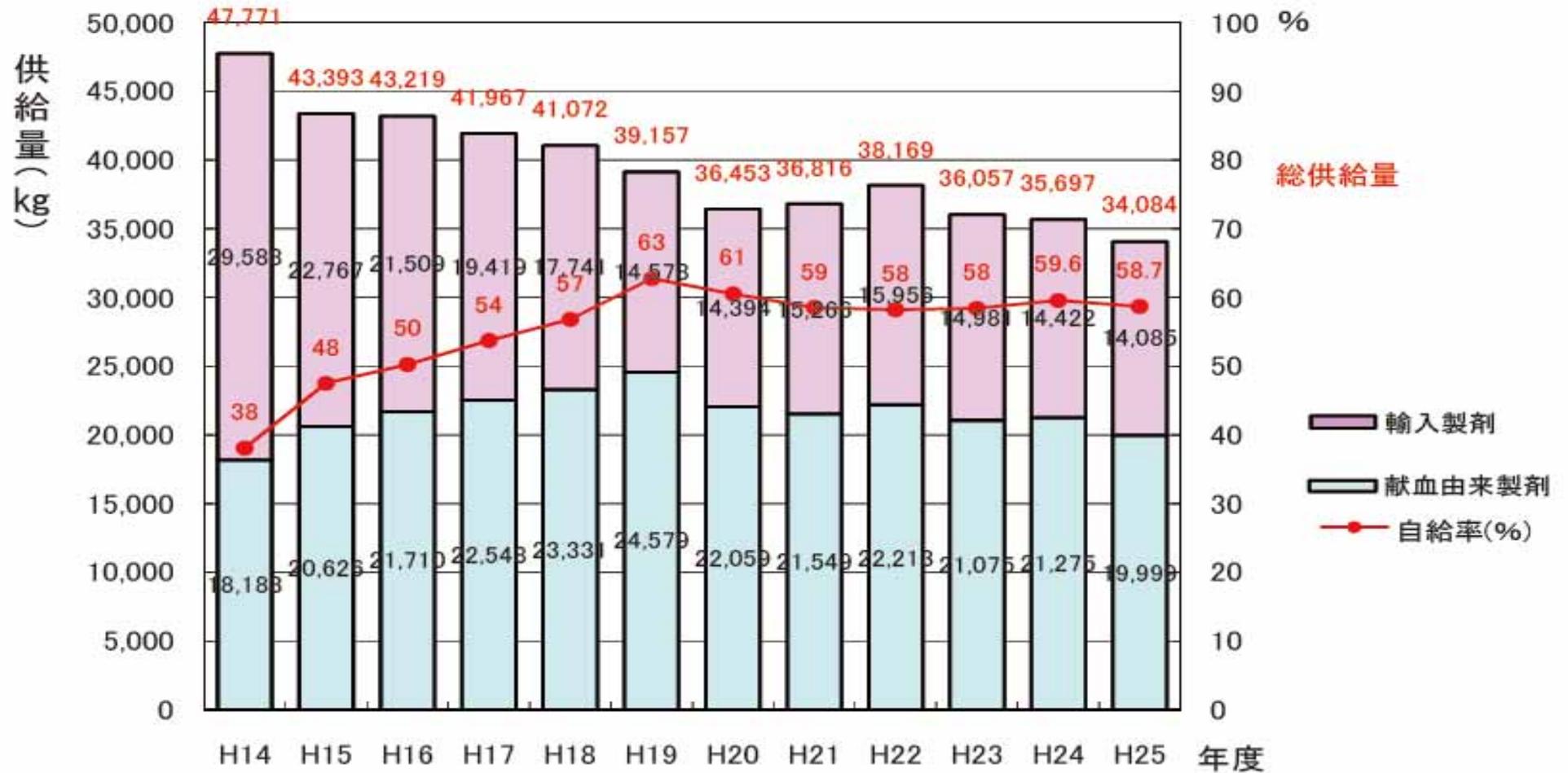
#### (2)献血確保目標量(案)

①平成28年度献血確保目標量(案) = 24,012L

① = 輸血用血液のための献血必要量 22,962L  
+ ②血漿分画製剤用原料血漿のための献血必要量 1,050L

②血漿分画製剤用原料血漿のための献血必要量  
= 確保目標量 10,835L  
- 輸血用血液の製造段階で発生する余剰血漿等の量 9,785L

# (参考) 血漿分画製剤の需給状況と自給率(平成14～25年度)



注) H20年度には遺伝子組換え製剤(188 kg)が供給されているが、これを含んでいない。

図1 アルブミン製剤の供給量および自給率の推移

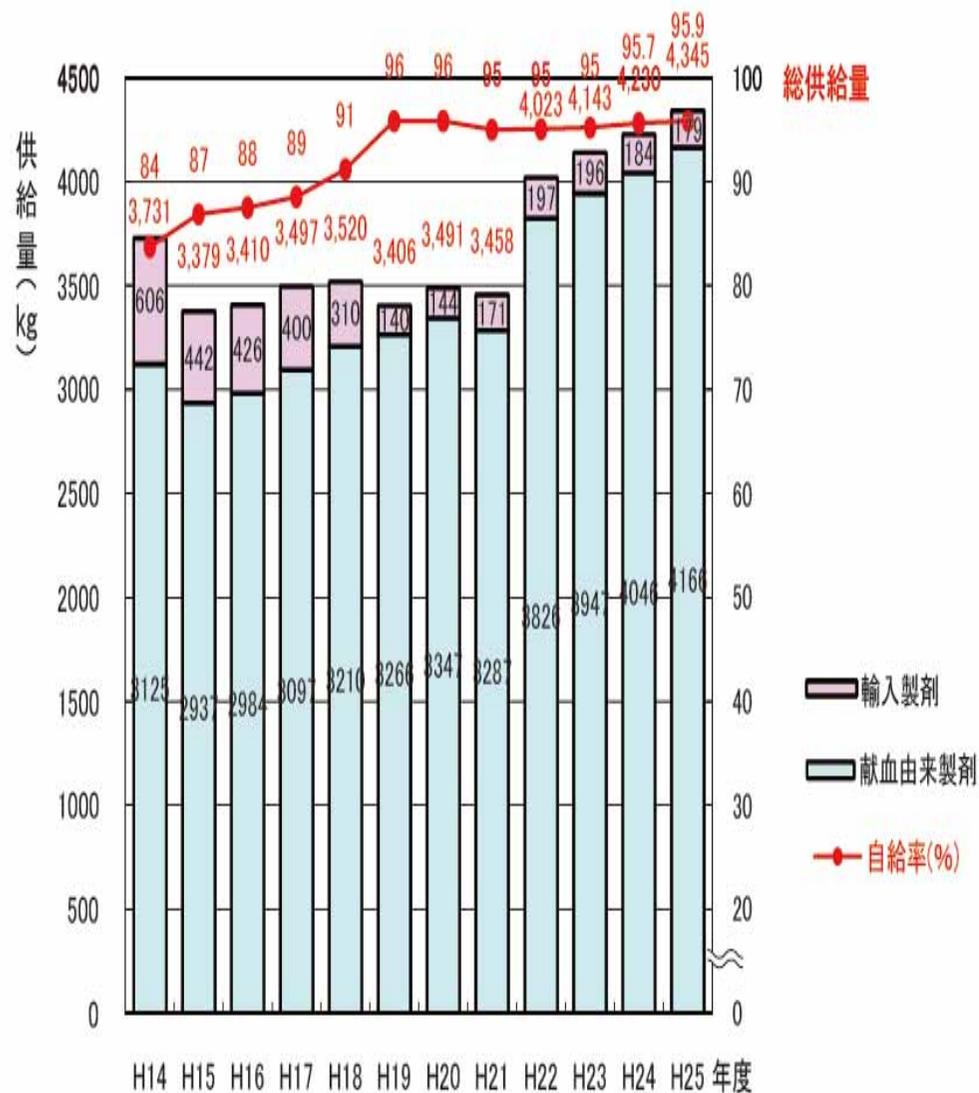


図2 免疫グロブリン製剤の供給量および自給率の推移

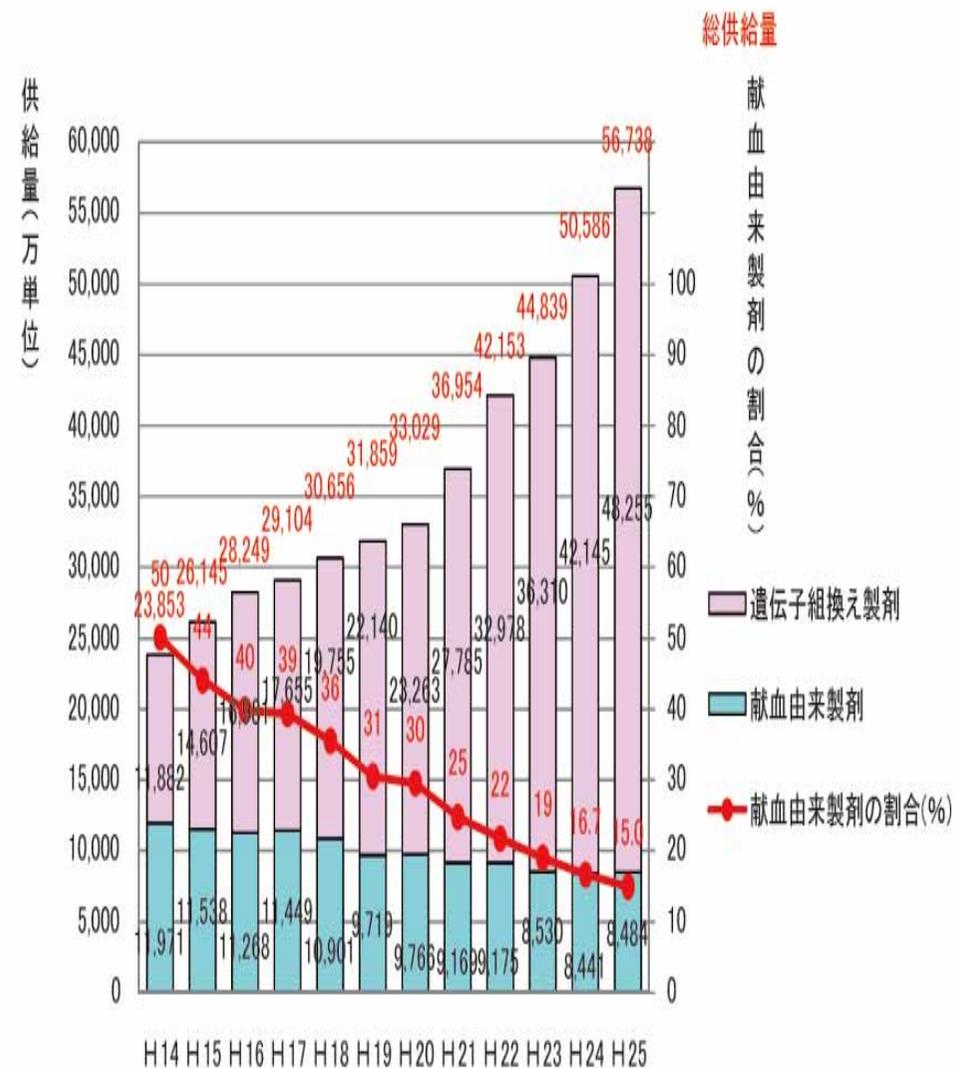


図3 血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量および献血由来製剤の割合の推移

# 平成26年度輸血療法に係るアンケート調査の 「追加調査」について

今回のアンケート調査に併せて、平成26年度のアンケート調査時に、「診療科ごとのアルブミン製剤の使用実態の把握」が行われているとの回答があった14医療機関を対象に既存資料の提供を依頼。

4医療機関から回答があったが、診療科の区分が各医療機関でまちまちであり、アンケート調査で分析することは困難と判断。

今後、別の手法で調査することに変更する。

# アルブミン製剤の使用状況等まとめ

1. 等張製剤、高張製剤ともに長崎県内の総使用量及び1施設あたりの使用量は増加傾向にある。  
(合同輸血療法世話人会意見)  
増加する要因としてオペ数などを併せて把握する必要がある。
2. 高張製剤の使用量削減策として、25%製剤の使用を止めて20%製剤への変更を行っている医療機関が見られることから、25%製剤の1施設あたりの使用量が減少しているケースが多い。
3. 輸血管理料を取得している施設では、全体として等張製剤、高張製剤の使用量の減少傾向が見られる。
4. 1病床あたりの使用量は、等張製剤では301床以上の医療機関が上位の多くを占める一方、高張製剤では100床以下の医療機関が上位の多くを占める。  
(合同輸血療法世話人会意見)  
各医療機関が他の医療機関と比べて使用量がどの程度であるかを評価する手段がないため、個別の評価概要をフィードバックする必要がある。<sup>38</sup>

# アンケート調査結果からの考察と今後の対応方針

1. 血液製剤及びアルブミン製剤の使用状況については、  
今後もデータを蓄積し、適正化の推進につなげていくために、  
各医療機関にできるだけ負担にならない手法でアンケート調査  
を継続して実施していく。
2. アルブミン製剤の個別の評価概要(他の医療機関と比較した  
使用量等に関する情報)を、個別に文書により通知すること  
とする。  
これにより、各医療機関が使用しているアルブミン量を評価  
するとともに、使用量削減等の適正使用を推進していく。
3. その他、アルブミン製剤の使用適正化のための有効な手法<sup>3</sup>や

# アルブミン製剤の個別の評価概要(案)

各関係医療機関の長 様

平成27年度血液製剤の使用状況等アンケート調査に伴う  
アルブミン製剤の使用量の概要について(情報提供)

本県の血液事業の円滑な推進につきまして、種々ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

記

## 1. アルブミン製剤の使用状況等

- (1) 費医療機関の識別番号: No. 1 (別表を参照してください。)
- (2) 1施設あたりの使用量: 1,500g
- (3) 病床数あたりの使用量: 65.2g
- (4) 使用量に係る意見

同規模の医療機関の使用量に比べて、高張アルブミン製剤の使用が多くなっています。

## 2. (参考) 他の医療機関の平均使用量

	同規模の医療機関	県内の医療機関(全体)
病床規模	100床以下	—
1施設あたりの使用量		
病床数あたりの使用量		

## 3. 補足

別表は、長崎県庁ホームページの以下のURLからご参照ください。

(URL) <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/iyakuhin/blood/128497.html>

輸血管理科取得施設におけるアルブミン製剤使用量の比較  
平成26年高張アルブミン製剤の病床あたりの使用量が多い順に表示

No.	医療機関名	病床規模	赤血球(単位)		アルブミン(計)(g)		5%アルブミン(g)		10%アルブミン(g)		25%アルブミン(g)		高張合計(g)		等張 病床あたり(g)		高張 病床あたり(g)		輸血管理科 適正使用加算	
			H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25
1	医療機関 1	101-200床	1,564	824	16,625	12,288	0	0	0	0	16,625	12,288	16,625	12,288	0.00	0.00	148.44	109.71		
2	医療機関 2	101-200床	287	1,820	16,988	12,063	4,750	3,263	0	0	12,238	8,800	12,238	8,800	26.54	18.23	68.37	49.16		
3	医療機関 3	301床以上	2,287	2,015	24,583	17,650	6,413	4,350	18,170	13,300	0	0	18,170	13,300	20.69	14.03	58.61	42.90		
4	医療機関 4	301床以上	2,138	2,463	19,775	17,188	0	1,113	0	0	19,775	16,075	19,775	16,075	0.00	3.18	56.50	45.93		
5	医療機関 5	301床以上	12,550	13,772	104,579	141,439	60,183	85,325	44,418	56,114	0	0	44,418	56,114	69.78	98.98	51.53	65.10		
6	医療機関 6	301床以上	3,128	3,147	17,625	23,225	1,300	4,063	0	0	16,325	19,163	16,325	19,163	3.71	11.61	46.64	54.75		
7	医療機関 7	301床以上	6,221	6,955	39,750	52,513	9,900	16,138	0	0	29,850	36,375	29,850	36,375	15.40	25.10	46.42	56.57		
8	医療機関 8	301床以上	2,953	1,825	20,314	31,038	5,875	3,875	13,378	0	1,063	27,163	14,430	27,163	16.14	10.85	39.67	24.62		
9	医療機関 9	201-300床	2,274	2,446	14,313	17,813	5,583	6,813	0	0	8,750	11,000	8,750	11,000	21.90	26.82	34.45	43.31		
10	医療機関 10	301床以上	2,150	1,969	11,400	11,508	0	825	11,400	8,770	0	1,913	11,400	10,683	0.00	2.48	34.23	32.08		
11	医療機関 11	301床以上	686	815	9,525	7,200	538	700	0	0	8,988	6,500	8,988	6,500	1.77	2.30	29.96	21.38		
12	医療機関 12	301床以上	7,583	7,798	66,513	77,700	15,175	9,225	0	0	51,338	68,475	51,338	68,475	25.55	15.53	86.43	115.28		
13	医療機関 13	201-300床	878	1,052	6,138	6,900	3,138	3,138	0	0	3,000	3,763	3,000	3,763	11.05	11.05	10.56	13.25		
14	医療機関 14	201-300床	603	804	2,975	4,625	0	0	0	0	2,975	4,625	2,975	4,625	0.00	0.00	10.44	16.23		
15	医療機関 15	100床以下	178	152	763	1,575	0	0	0	0	763	1,575	763	1,575	0.00	0.00	9.53	19.69		
16	医療機関 16	201-300床	932	803	2,000	3,100	0	0	0	0	2,000	3,100	2,000	3,100	0.00	0.00	8.55	13.25		
17	医療機関 17	101-200床	155	197	780	1,220	0	0	780	1,220	0	0	780	1,220	0.00	0.00	7.50	11.73		
18	医療機関 18	101-200床	320	390	570	480	0	0	570	480	0	0	570	480	0.00	0.00	4.07	3.43		
19	医療機関 19	101-200床	168	192	20	0	0	0	20	0	0	0	20	0	0.00	0.00	0.13	0.00		
	合計		46,896	49,420	375,212	439,522	112,813	138,825	88,712	79,884	173,688	220,813	262,400	300,897						
	一施設100床未満(平均)		2,468	2,601	19,748	23,133	5,938	7,307	4,669	4,204	9,141	11,622	13,811	15,826						

識別番号を設定して、  
県庁HPで全医療機関の概要を公表  
(病院名と病床数は公表しない)



**ご清聴ありがとうございました。**

**今後とも血液製剤及びアルブミン製剤の  
更なる使用適正化に  
ご理解とご協力をお願いいたします。**

本日の資料や合同輸血療法委員会の活動等は長崎県庁ホームページでご覧いただけます。  
(URL) <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/iyakuhin/blood/128497.html>